

FIT

平成30年度

教育・研究活動報告書

取組成果のご報告

For all the students

～すべての学生生徒のために～



全国トップクラスの教育拠点を目指して

～大学入学志願者13年連続増加と就職状況9年連続高位安定を礎に～

本学園の運営につきましては、平素より格別のご理解とご支援をいただき深く感謝申し上げます。

さて、我が国の政府は、2040年に必要とされる人材像と高等教育のあるべき姿を明らかにしました。その中で、普遍的な知識・理解と汎用的な技能を文理横断的に身に付けた人材、および時代の変化に合わせて積極的に社会を支え論理的思考を持って社会を改善していく人材を育成することが必要であるとしています。今後の18歳人口の減少による予測不可能な時代の到来を見据えて、数理・データサイエンス等を基盤的能力と捉え、AI・ビッグデータ・ロボティクス等の先端技術の発達による大きな社会変革に対応し、新たな社会をリードする人材を育成することが強く求められています。

私学については、これらの要請に的確に応えることはもとより、その強固な礎として「財政的自立・自存」も求められています。学齢人口の減少期において、経営改革と教育改革の断行を迫られている状況と言えます。

このような環境の中で、本学園は早期から学校改革の重要性を認識し、経営理念のもとに20年以上にわたって多様な試みを行ってきました。これらの取組は、相応の成果を創出し、「13年連続入学志願者の増加、就職関連指標の高位安定、3設置校全ての財政安定化」につながっています。本報告書の主要な成果としてまとめているとおりです。

しかし、私たちは、この現状に満足することなく、いっそうの経営と教育研究の改革・改善を推し進め、「全国トップクラスの教育拠点」を形成し、社会の変革に適應できる強い人材の育成を目指してまいります。

この教育・研究活動報告書は、学生・生徒・保護者の皆様、卒業生、そして学校運営にご支援をいただく企業・地域の皆様に、私どもの教育・研究及び経営・財務の諸活動の取組とその成果について具体的にご説明し、いっそう本学園をご活用いただくことを目的としています。

おって、この報告書を通じた関係の皆様と本学園の双方向のやりとりは、私どもが諸活動を磨き高めるには欠くことのできない貴重な機会であると存じます。どうか忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

令和元年8月1日

福岡工業大学・同短期大学部

学 長 下村 輝夫

INDEX

I.はじめに

- 1.ごあいさつ(学長メッセージ) …… 1
- 2.マスタープランの取組状況・成果の概要
 - (1)取組の沿革(年表) …… 3
 - (2)取組成果の概要(教育・研究活動報告書の構成) …… 4

II.大学の主要な取組成果(マスタープランの取組成果とその外部評価)

- 1.入学志願者・入学者の状況(戦略I) …… 5
- 2.教育力の発揮(戦略II) …… 7
- 3.研究の高度化(戦略III) …… 9
- 4.就職力の強化(戦略IV) …… 11
- 5.グローバル化と地域貢献の推進(戦略V)
 - (1)グローバル化 …… 13
 - (2)地域貢献 …… 15
- 6.財政基盤の安定と組織ガバナンスの強化(戦略VI) …… 17
- 7.学校運営に対する外部評価 …… 19

III.ファシリティ・各設置校の状況

- 1.キャンパスの施設・設備 …… 21
- 2.大学院の取組 …… 23
- 3.短期大学の取組 …… 25
- 4.附属城東高校の取組 …… 27

IV.学校改革(教育改善・研究高度化・就職支援等)の具体的取組状況

- 1.教育改善の取組 …… 29
- 2.研究高度化の取組 …… 31
- 3.就職支援の取組 …… 33
- 4.ラーニングサポートの取組 …… 35
- 5.キャンパスライフサポートの取組 …… 37

V.バックデータ集

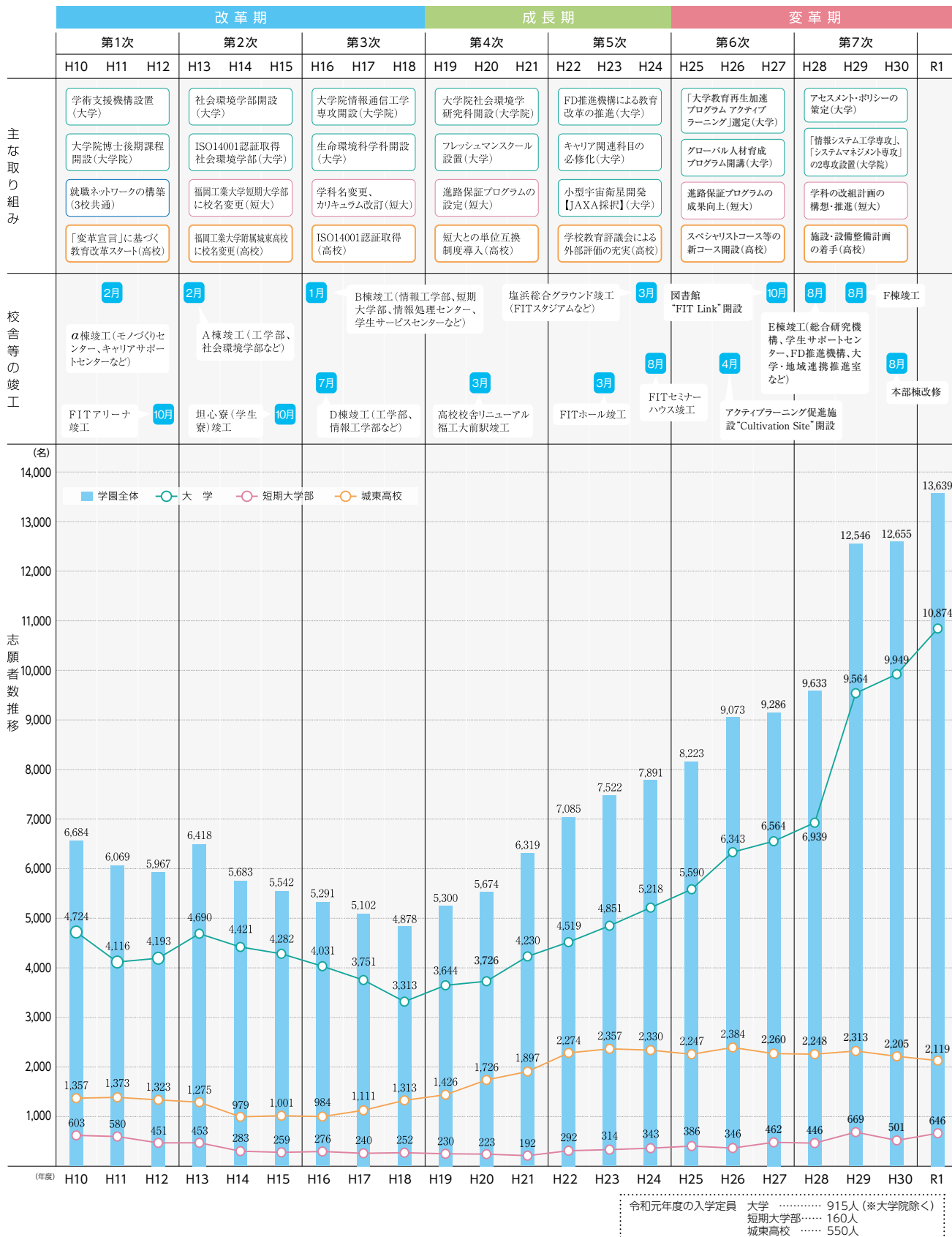
- 1.学生表彰(学会表彰、卒業生表彰、課外活動表彰等) …… 39
- 2.その他、経営・財務、教育・研究等諸活動のデータ …… 41

マスタープランの取組状況・成果の概要

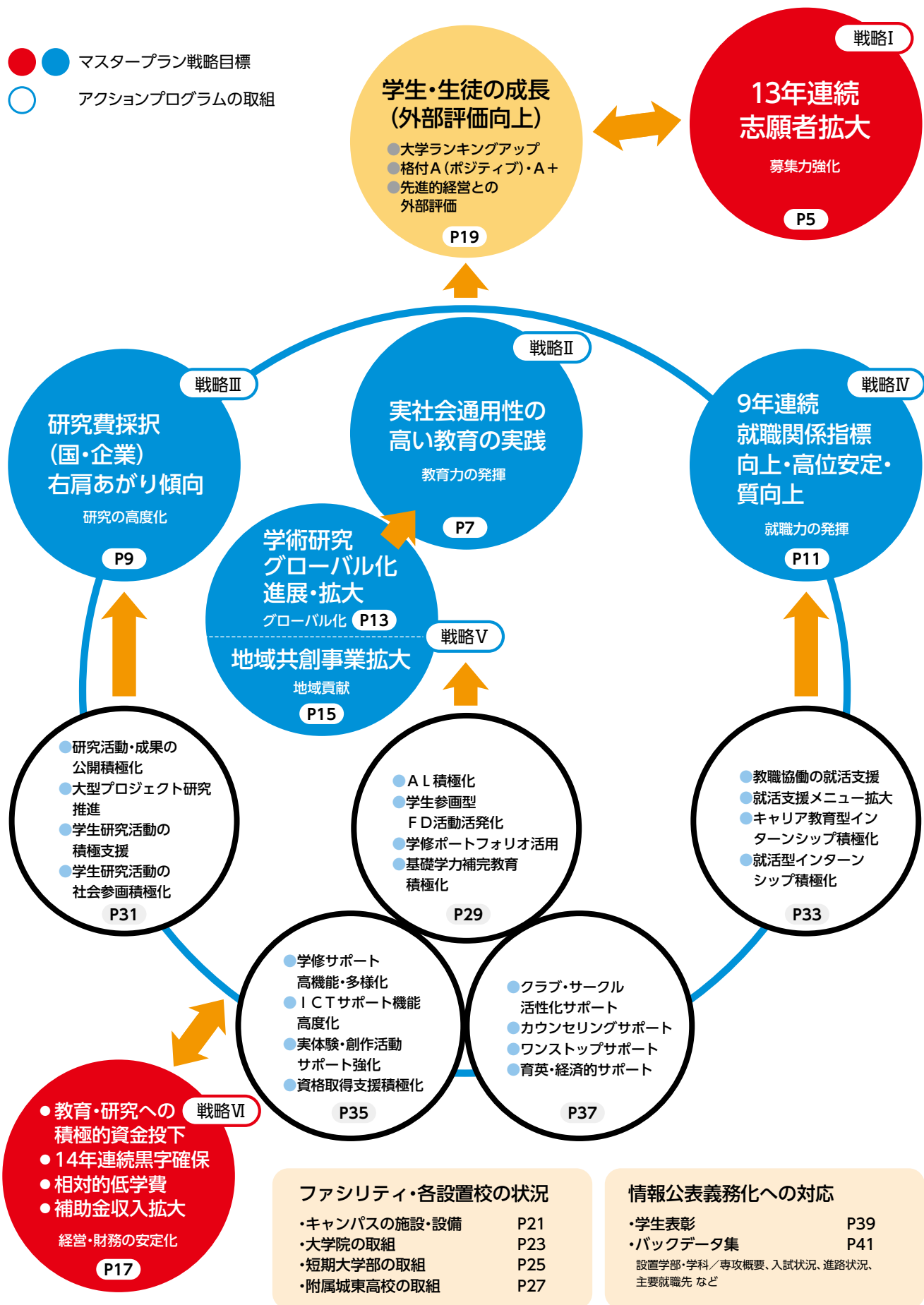
(1) 取組の沿革(年表)

大学は、13年連続で入学志願者が増加しました。短大も増加傾向であり、安定して志願者を確保しています。高校は、平成16年度以降8年連続で入学志願者が増加、以降、「県下トップクラス」を維持しています。

■マスタープランの概要



(2) 取組成果の概要 (教育・研究活動報告書の構成)

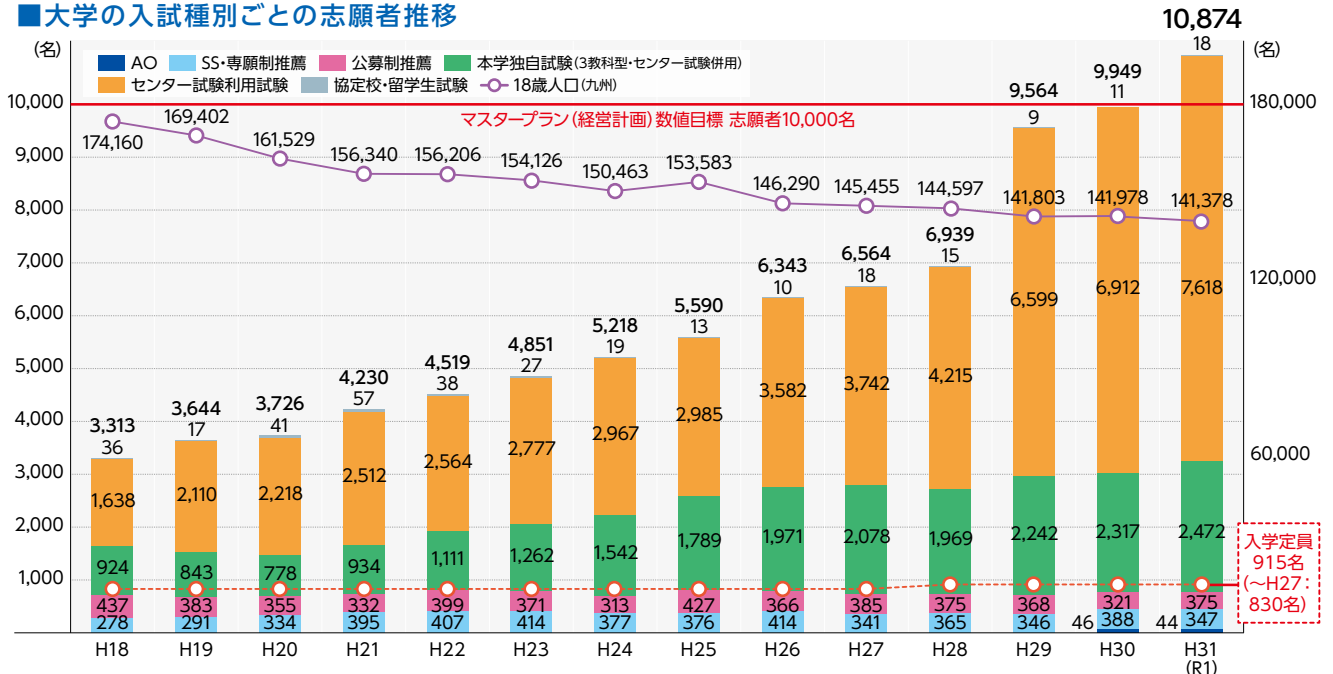


1. 入学志願者・入学者の状況(戦略 I)

入学志願者13年連続拡大。入学志願者10,000名・入学志願倍率3年連続10倍を達成しました。

平成31年度入試は、総志願者数10,874名(実志願者3,252名と併せて過年度最高)、志願倍率は11.9倍(3年連続10倍超)となり、13年連続の志願者増加となりました。

■大学の入試種別ごとの志願者推移

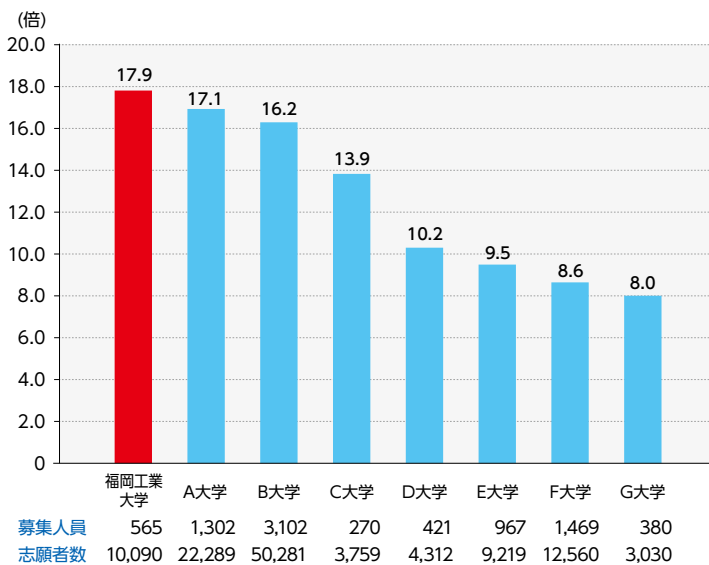


▶ 入学者確保目標を設定し「精緻な入学者数管理」を継続。これによって、所定の入学者を継続・安定的に確保(H31年度:1,045名)しています。

一般入試志願者も10,000名を達成。入学難易度が上昇、入学者学力は向上しました。

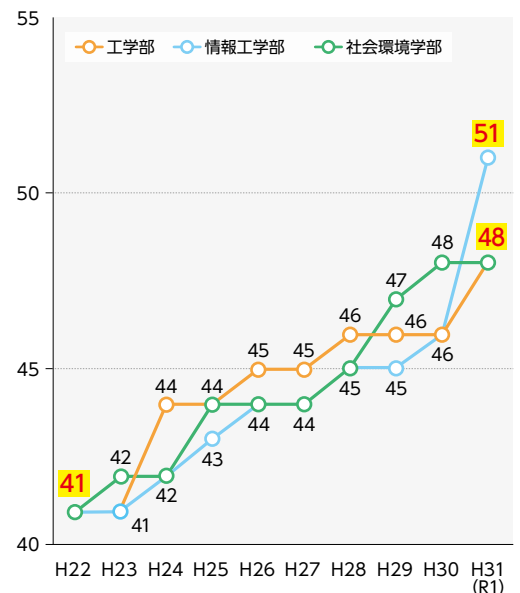
一般入試志願者(3教科型・センター試験利用等)も10,000名を達成しました。入試難易度は継続して上昇しています。学力上位校からの志願・入学者も増加し、入学者学力は大きく向上しました。

■H31年度入試 主な九州地区私立大学志願倍率比較



河合塾 [Kei-Net] 2019年度入試結果データ、および各大学HPの掲載情報から算出

■過年度10年間の合格目標偏差値の推移(進研模試合格目標偏差値)



面倒見の良さ、就職力の高さが高評価。志願者・入学者の出身地は広域化しました。

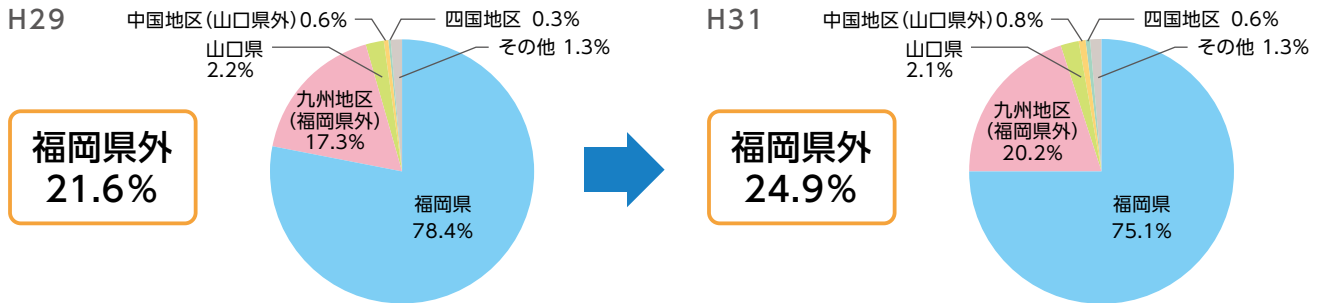
受験生の安定志向・地元志向の高まりや九州・山口地区理工系他大学との競争激化の中でも、福岡県はもとより九州各県、山口県や中国・四国地方からの志願者・入学者が増加（広域化）しています。

■出身県別 志願者・入学者の状況

年度 県・地区	H29		H30		H31 (R1)		増減 (H29-H31)		伸び率* (H29-H31)	
	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
福岡県	7,496	746	7,487	699	8,168	718	672	▲ 28	95.8%	98.8%
九州地区(福岡県外)	1,650	279	2,050	311	2,194	274	544	▲ 5	117.0%	100.8%
中国地区	265	34	227	31	306	34	41	0	101.6%	102.7%
四国地区	31	2	45	5	66	8	35	6	187.3%	410.7%
その他	122	12	140	14	140	11	18	▲ 1	100.9%	94.1%
合計	9,564	1,073	9,949	1,060	10,874	1,045	1,310	▲ 28	113.7%	97.4%

*各地区の志願者・入学者の、全体に占める割合の伸び率

■出身県別志願者の割合 (H29-H31比較)



- ▶ 教職協働での取組（模擬講義・出張講義・研究室公開・高校訪問など）を実施し、「丁寧な教育・面倒見の良さ」、就職状況良好さ等の説明に力を注いでいます。

施設見学者の拡大策を継続。教育・研究活動、学生サポートへの興味・関心が向上しています。

団体見学・施設貸出、進学相談・入試説明会、在学生保護者説明会など施設見学者が大幅に拡大しています。高校生・保護者・教員からの教育改革・改善や就職支援の取組に対する信頼・評価ならびに興味・関心が特に高まっています。

■施設見学等の様子



入試説明会



施設貸出(高校講演会)



模擬講義(情報工学部)



高大連携の取組
(生命環境化学科と新宮高校:平成30年12月)



研究体験(VR体験)



研究室公開(工学部)

- ▶ 高大接続システム改革にむけて、高大接続教育研究会も継続・定期的開催しています。

2. 教育力の発揮(戦略Ⅱ)

実社会に通用性の高い実践型教育が「教育力」ランキングで高く評価されました。

「自律的に考え、行動し、様々な分野で創造性を発揮できる人材」を育成するために、全学的なアクティブラーニング型授業(AL)の展開や様々なFD(教育改善活動)に取り組んできました。長年にわたる取組の積み重ねによって、本学の「教育力」が高く評価されています。

■「THE(Times Higher Education)世界大学ランキング2019日本版

(日本の大学における「教育力」の高さの指標)

 **総合*** **九州私大4位**

教育リソース どれだけ充実した教育が行われている可能性があるか **九州私大1位**

教育充実度 どれだけ教育への期待が実現されているか **九州私大3位**

教育成果 どれだけ卒業生が活躍しているか **九州私大4位**

出典:「THE世界大学ランキング 日本版2019」英国の教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション(THE)と日本のベネッセグループの協同事業

*「THE世界大学ランキング 日本版」は、教育リソース(5項目)、教育充実度(5項目)、教育成果(2項目)、国際性(4項目)の4指標で評価。大学の教育力を総合的に表している。

■日経キャリア「価値ある大学2020年度就職力ランキング」

全上場企業と一部有力未上場企業の人事担当者から見た大学イメージ調査
『採用を増やしたい大学』ランキング 全国1位

順位	種別	大学名	割合(%)
1位	私立	福岡工業大学	80
2位	国立	富山大学	71
3位	国立	香川大学	70
4位	私立	大阪電気通信大学	69
5位	国立	名古屋大学	68
6位	私立	千葉工業大学	67
7位	私立	摂南大学	65
8位	国立	信州大学	64
8位	国立	鳥取大学	64
8位	公立	愛知県立大学	64

順位	種別	大学名	割合(%)
11位	国立	長岡技術科学大学	63
12位	国立	福井大学	62
12位	私立	追手門大学	62
14位	国立	京都工芸繊維大学	61
15位	私立	金沢工業大学	60
15位	私立	拓殖大学	60
17位	私立	広島工業大学	59
18位	国立	静岡大学	58
18位	私立	東京工科大学	58
20位	国立	岩手大学	57

出典:日経キャリア「価値ある大学2020年度就職力ランキング」

【調査概要】

調査名:企業の人事担当者から見た大学イメージ調査/調査期間:2019年2月18日(月)~3月22日(金)/調査対象:2019年2月現在の全上場企業(ジャスダック等新興市場含む、外国会社は除く)と一部有力未上場企業/調査対象社数:4779社/回答社数:815社(回答率17.1%)/調査主体:日本経済新聞社と日経HRの共同調査 調査協力:日経リサーチ

国の補助・採択を受け、AL型授業を全学的・組織的に展開

実社会に通用性の高い実践型人材を育成するために、AL型授業の展開を全学的・組織的に進めています。AL型科目の割合、AL科目受講生の割合、AL実施教員の割合は、それぞれ当初目標であった「80%以上」を超えています。

■AL型授業の取組状況(平成26年度文部科学省大学教育再生加速プログラム(AP)の成果)

ALを導入した
授業科目数の割合
全授業科目の **80.7%**



AL実践研究会



FD cafe

ALを受講する
学生の割合
全学生の **88.9%**



新任教員FD研修



AL対応教室の整備

ALを行う
専任教員の割合
全専任教員の **96.6%**

▶「AL型授業の推進」は、文部科学省「平成26年度大学教育再生加速プログラム」に採択されています。

教育内容・方法の改善を組織的・系統的(入学前・初年次～キャリア教育)に積極化

FD推進機構を中心に教育改善を推進しており、各学部で教育改善のPDCAを実施しています。また、学科毎の教育・研究改善取組は審査会等を経て実行され、翌年に実績報告がなされています。計画と予算の連動により、PDCAの実質化を図っています。

■教育改善PDCAの取組



工学部 グローバルPBL実施報告会(平成30年5月)



情報工学部 教育業績賞受賞報告会(令和元年6月)



H30年度ファカルティ・デベロッパー(FDer)の認定
土屋麻衣子教授(社会環境学部)



教学特別予算審査会(毎年3月)、成果報告会(毎年8月)

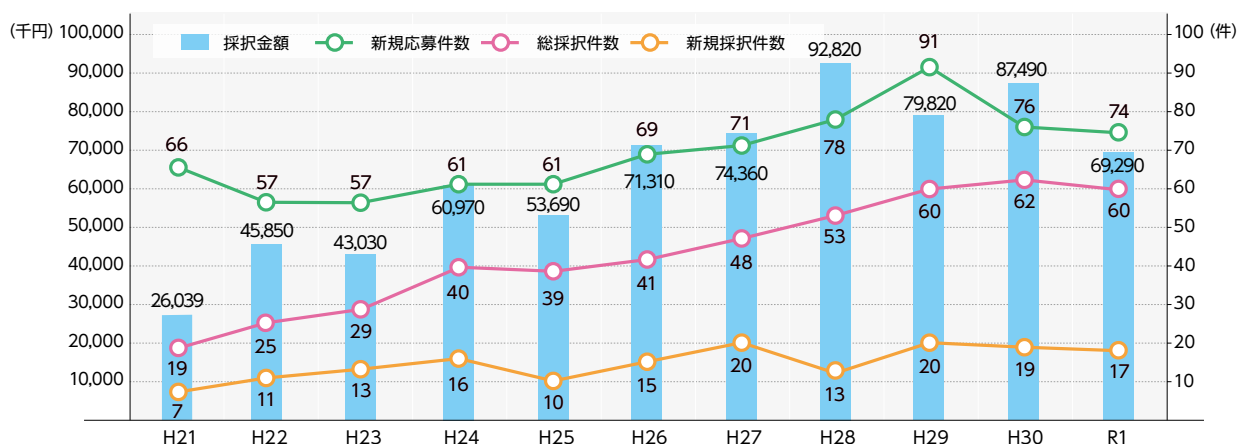
▶教育改善の具体的取組内容等はP29を参照してください。

3. 研究の高度化(戦略Ⅲ)

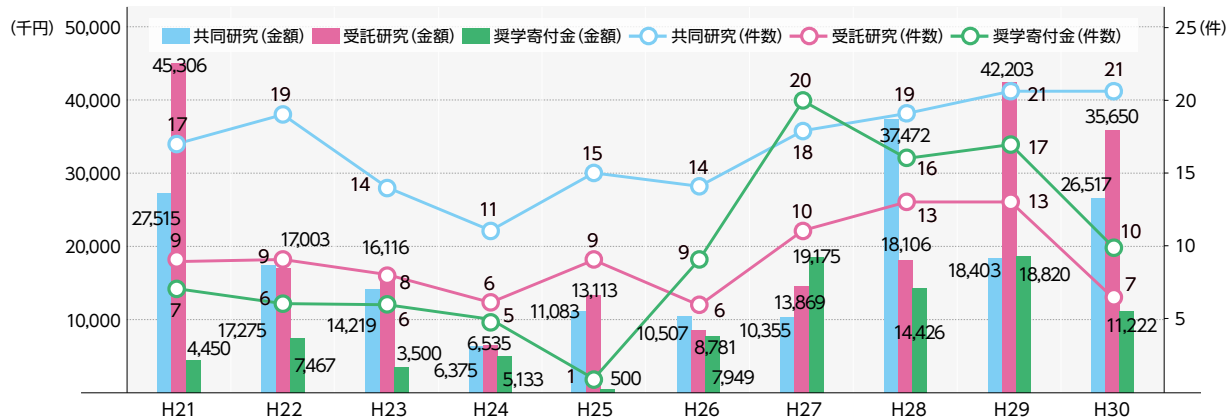
実社会の課題を解決する研究テーマが増加。国・産業界からの研究支援採択実績が拡大しています。

国・地域、産業界における課題の的確・確実な把握に努め、実社会ニーズに対応した研究活動を推進してきました。この結果、地域の研究拠点としての評価がますます高まり、実用性の高い研究課題への採択が高い水準で安定しています。

■ 科研費*1採択推移 (H21-R1、短期大学部含む)



■ 外部研究資金の取得実績推移 (H21-H30)



■ 各種の研究評価指標ランキング

教員博士号取得者 比率(H30実績) 全国1位 工学部 100.0% 情報工学部 100.0%	国際共著論文 割合(H26-H30) 全国7位 (九州1位) 37.7%	教員1人あたり 論文数(H26-H30) 全国34位 (九州私大1位) 7.46本	40歳未満の科研費 採択率(H30) 全国工学系私大 1位*2 32.7%	科研費配分額(H30) 九州私大 1位*3 72,930千円
--	--	---	--	--

朝日新聞出版大学ランキング2020 文科省、日本学術振興会資料集計

▶ *1 科研費(科学研究費)助成は、我が国の学術研究を飛躍的に発展させることを目的とする競争的資金であり、独創的・先駆的な研究を助成する制度です。

*2 全国工学系私大17校における比較(日本学術振興会公表データより本学集計)

*3 医・歯・薬学系統の学部を持たない九州私大における比較(同上)

国・地方、産業界が抱える課題の解決に向けた研究(実用化研究)を積極化

複雑化する現代社会において、大学に求められる役割も急速に変化しています。近年、実社会のニーズに的確・確実に対応する応用研究を積極的に進めています。

■実社会ニーズに貢献する研究テーマの例

社会的課題 (キーワード)	自動運転技術、 居眠り事故防止技術	外科手術への AI 活用	気候変動分析・解析、 生態系保全技術
所属学科 氏名	電子情報工学科 松木裕二教授	情報システム工学科 徳安達士教授	社会環境学科 乾 隆帝准教授
研究成果	事故の起こり易さ指標の開発	腹腔鏡手術精度の飛躍的向上	DNA 生物分布の予測・分析
取組の様子			

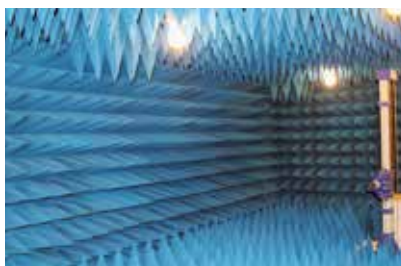
3つの研究センターに最先端研究装置を積極導入。研究基盤を確立

国・地域、産業界における課題の解決、並びに研究高度化に向け、試料分析・測定装置を導入しました。これにより、社会的課題の解決に資する研究基盤が確立しました。

■3つの研究センター



食品農医薬品研究センター



電磁波計測センター



あまみず社会研究センター

■近年整備した主な研究装置



電子プローブマイクロアナライザー(EPMA)
(平成30年度 文部科学省・私立学校施設整備費
補助金採択)



三次元光学プロファイラー(New View 9000)



DXR顕微レーザーラマン分光装置

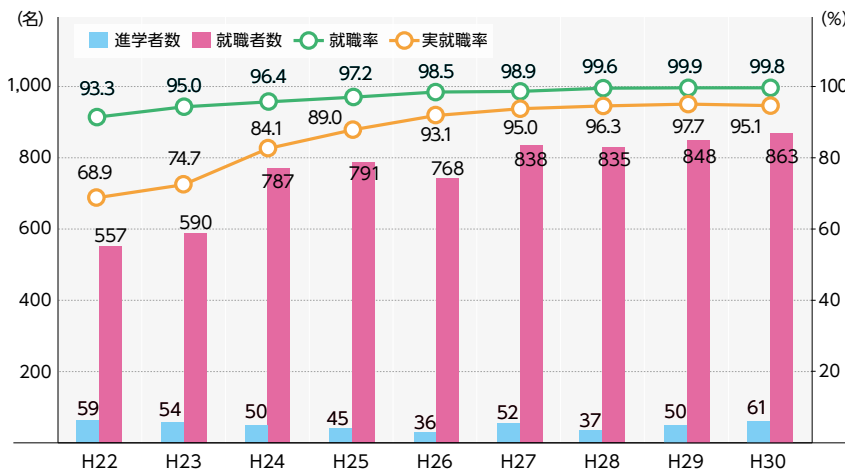
▶これらの研究装置の積極的活用により、3研究センターの食品組成・環境測定・電磁波測定等の分析精度は飛躍的に高まり、実社会の課題解決(応用研究)に着実に繋がっています。

4. 就職力の強化(戦略Ⅳ)

就職関連指標は9年連続で高位安定。学生の就職満足度が向上しました。

キャリア教育カリキュラムを体系的に整備して、入学初年度から段階的に就業力を育成しています。併せて、広範な企業ネットワーク形成や早期からの様々な就職支援策の実施により、質・量ともに良好な就職状況となりました。

■ 進路決定状況推移、企業規模別就職状況

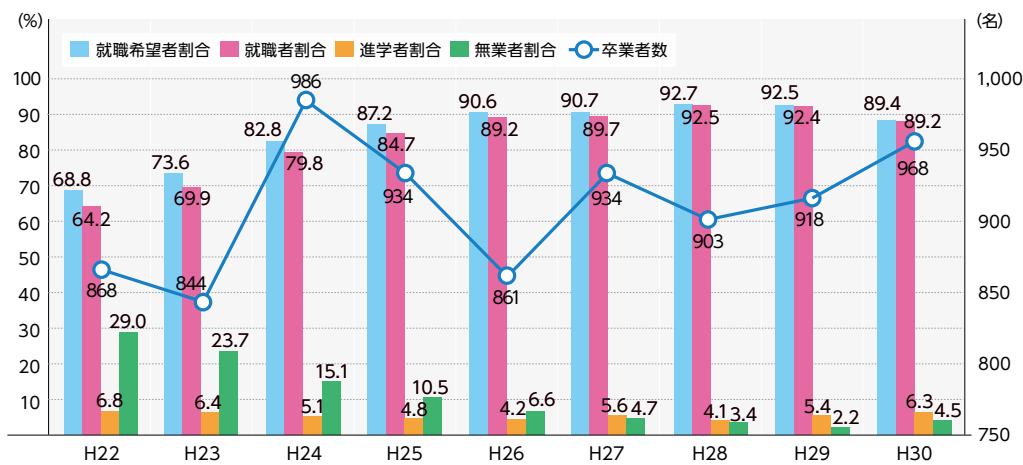


就職率 *1
99.8%

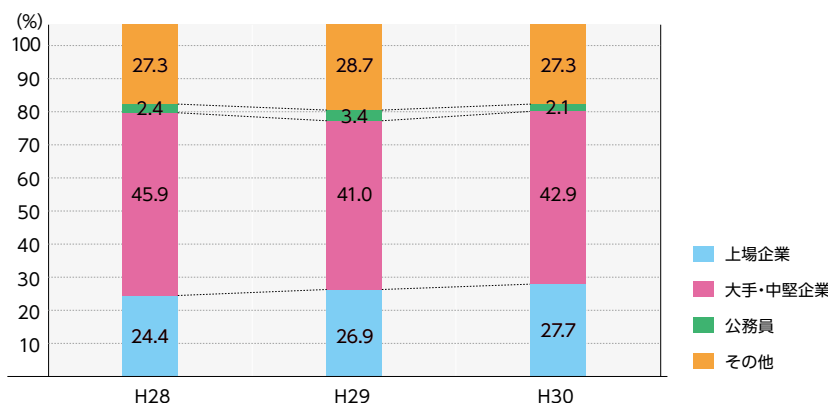
実就職率 *2
95.1%

*1 就職率=内定者数÷就職希望者数×100、
実就職率=内定者数÷(卒業生-大学院進学者数)×100
*2 進学者は大学院進学者に限る

■ 卒業生に対する就職希望者・就職者等割合推移



■ 企業規模別就職割合



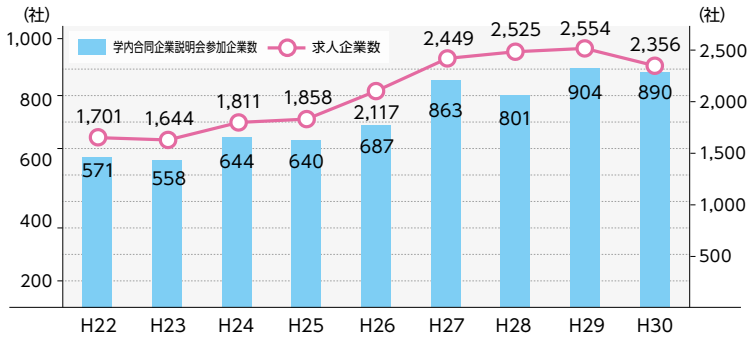
上場企業・
大手・中堅企業への
就職割合 *3
70.6%

*3 大手・中堅企業は資本金3億円以上
もしくは従業員数300名以上

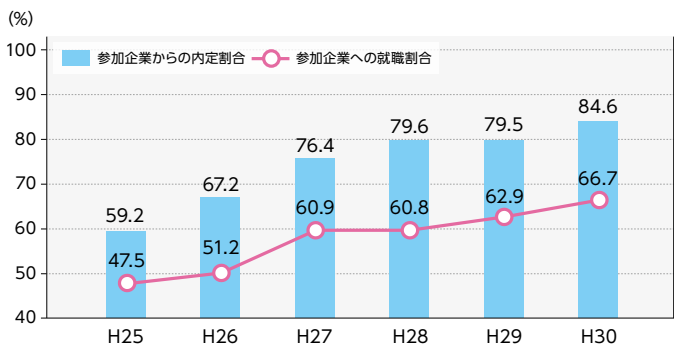
外部連携を積極化、企業ネットワークを拡大、就職支援力を格段に充実

東京・大阪・福岡に企業訪問専従者を配置、三大都市圏・九州・山口企業ネットワークを形成。トップアップ講座や企業交流会の実施により学生の就職満足度向上を図っています。

■ 学内合同企業説明会参加企業数、求人企業数推移



■ 学内合同企業説明会参加企業への内定・就職割合推移



■ 学内合同企業説明会



企業数:660社 学生数:4,721名(延べ数)
開催日数:6日間(平成30年3月)

■ 企業交流会でのポスターセッション

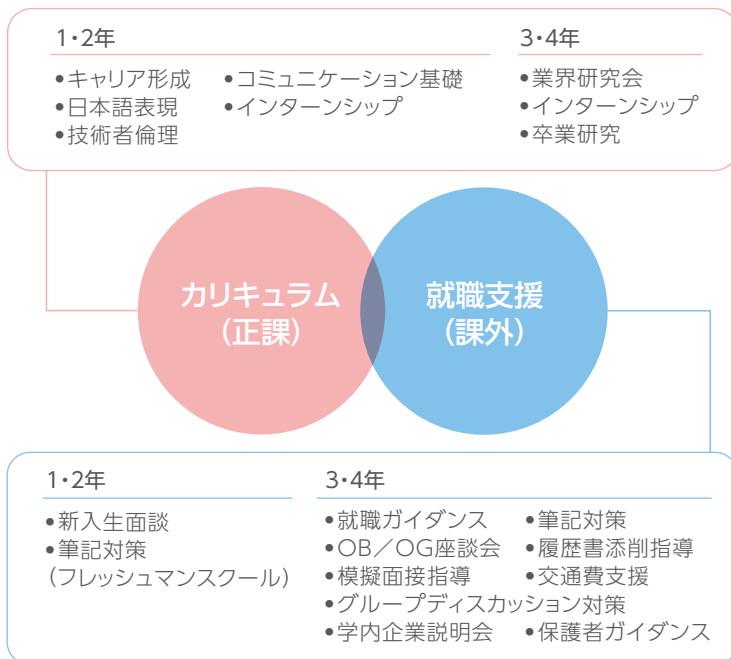


東京・大阪・福岡の上場大手・中堅企業55社が参加
(平成30年11月)

正課・課外でのキャリア教育によって「就業・就活力育成」を徹底

正課授業科目に「キャリア形成」や「インターンシップ」等を配置し、それらの学びを確実に就職に繋げるため、筆記試験対策や模擬面接指導等の課外指導を系統的に行いました。

■ 正課・課外で行うキャリア教育の連携



■ 課題解決型インターンシップ



古賀市「バス乗って得キャンペーン」で特産物を紹介する様子
(平成30年9月)

■ OB・OG協力の業界・企業研究



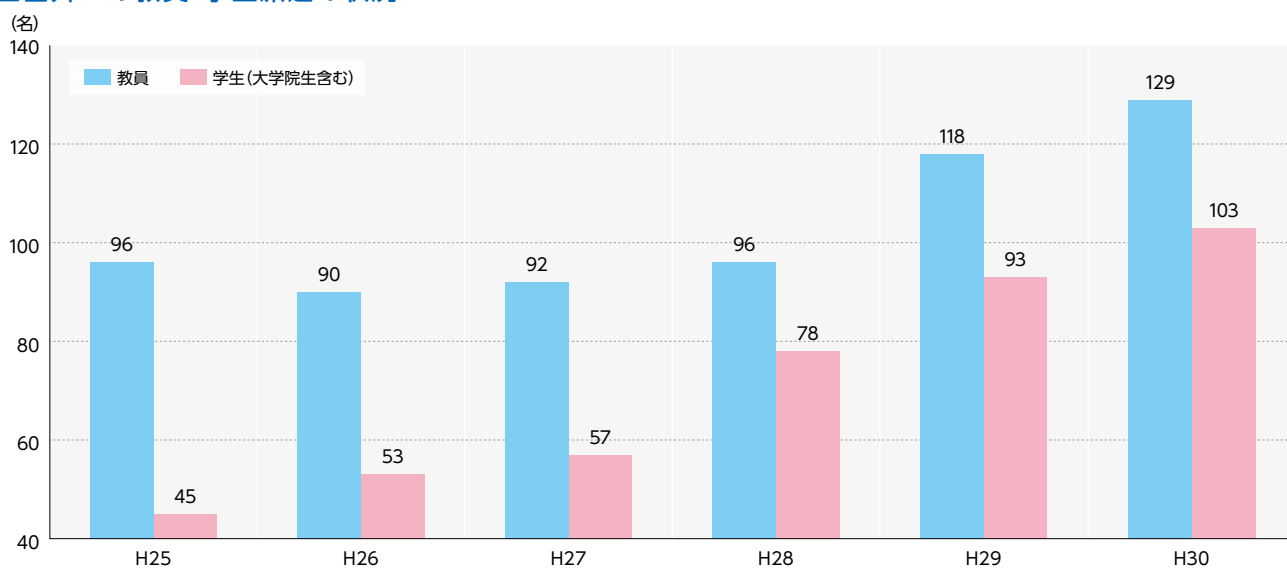
OB・OG座談会の様子(平成31年1月)

5. グローバル化と地域貢献の推進(戦略V) (1) グローバル化

学生・教員双方の学術研究活動のグローバル化が進展・拡大しました。

グローバル人材の育成に向けた組織・体制の整備を進め、高まるグローバル化ニーズに対応しています。教員や学生の国際学会発表や研究が活発化し、学生の学習内容・意欲、グローバル意識の向上に繋がっています。

■ 国外への教員・学生派遣の状況



■ Global Project Based Learning(海外における課題解決型学習)



ダナン工科大学(ベトナム)での「WiFi通信機能を利用した通信アプリケーションの設計と実装」プログラム(平成31年3月)



King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang(タイ)でのプログラム(平成30年8月)



(株)三井ハイテック・St. Mary's College of California(米国)とのプログラム(平成30年6月)

■ 国際学会発表・受賞



知能機械工学科・加藤友規准教授 卒業生、東京都立産業技術高等専門学校・大野学准教授による共著論文で国際会議 The 4th International Conference on Engineering, Applied Sciences and Technologies2018にてBest Paper Award受賞



電子情報工学科・江口啓教授、工学専攻1年・安部裕人さん(筑前高校)
左)国際会議11th International Conference on Innovative Engineering Technologies and Natural Resources(ベトナム)でOral Best Paper Award受賞(平成30年6月)
右)国際会議The 13th International Conference on Innovative Computing, Information and Control(中国)でBest Paper Award受賞(平成30年8月)



海外の大学・研究機関との学生・教員の派遣・招致による交流を拡大

タイ・中国・韓国・アメリカ等多くの国への派遣や招致を行っています。語学や文化理解・海外企業でのインターンシップ等を通してグローバル意識の向上を目指しています。

■ 海外大学から学生の受入



慶星大学校とのWomen in Engineering Global Challenge Program (韓国教育省支援) (平成30年7月)

■ 海外大学との協働教育プログラム



キングモンクット工科大学(タイ・協定校)と協働で行う短期派遣研修 (平成30年8月)

■ 海外大学から講師の招聘



Saint Mary's College of California特別講義(平成30年6月)

■ 海外での短期語学研修

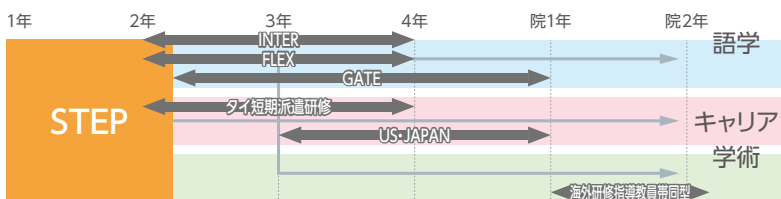


Brighture English Academy(セブ島の語学学校)での語学研修 (Global Academy of Technological English Program)(平成31年2月)

学生のグローバル化支援策(語学・コミュニケーション教育)を拡大・充実

ネイティブスタッフによる英会話レッスンや留学の準備・国際学会での発表サポートなど、それぞれのスキルや目的に合わせたさまざまな国際サポートを実施しています。

■ 国際交流プログラムを活用した学びのプロセス



※STEP参加資格…2年夏期休暇まで

	滞在期間	渡航先・研修先
STEP(Short Term Experience Program)	5~9日間	シンガポール、中国、ハワイなど
INTER(Intensive Training for English Learner Program)	21日間	フィリピンセブ島 語学学校
FLEX(Foreign Language Exploration)	21日間	ニュージーランド オークランド工科大学
GATE(Global Academy of Technological English Program)	13日間	フィリピン Brighture English Academy
タイ短期派遣研修(Peer Practical Internship Program)	13日間	現地法人など

■ 学会前・留学前の語学学習支援



グローバル
スチューデント
ラウンジの様子

■ タイ国政府の支援



ソムチャイ領事・アッタカーン総領事・ボンバン領事 (在福岡タイ王国領事館)が来訪(平成30年12月)

■ 外務省外郭団体の支援



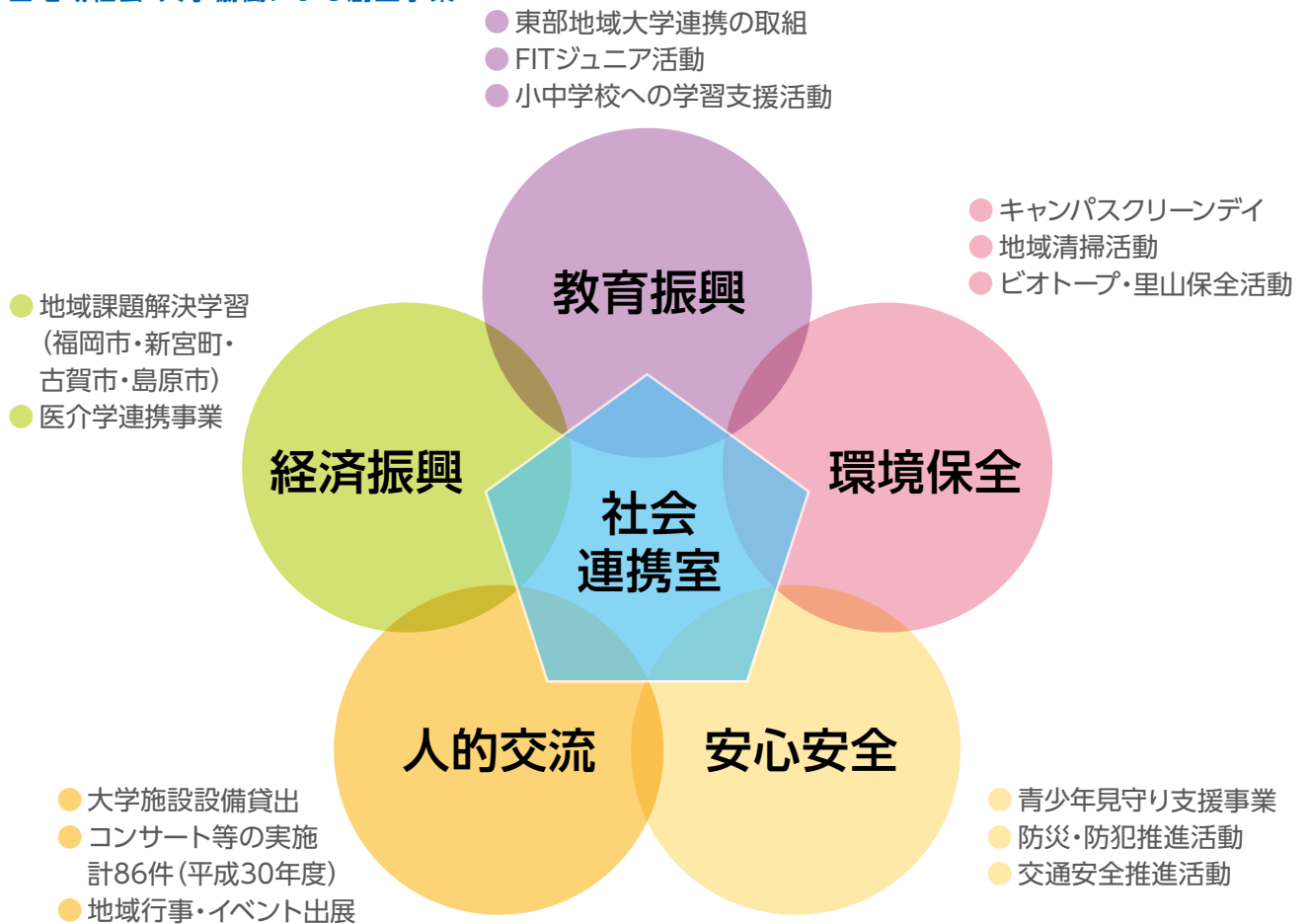
「21世紀東アジア青少年大交流計画」
JENESYS2018プログラムでの交流(平成31年3月)

5. グローバル化と地域貢献の推進(戦略V) (2) 地域貢献

地域社会と大学の協働によって、多くの地方創生事業が結実しました。

「地域との協働から地域との共創へ」をキーワードに、地域の課題解決や活性化を図りつつ、能動的に地域に貢献する人材の育成を目指しています。近隣自治体、大学、企業との「包括連携協定」により多種多様な連携事業を行い、成果を創出しています。

■ 地域社会・大学協働による創生事業



■ 地方創生事業の土台となる科目(地域創生入門)

企業・自治体・NPO法人による講義タイトルと講師一覧

	講演タイトル	講師(敬称略)
第1回	直方中心市街地の歩みと今後の課題	(株)つなぐほーむ代表取締役 岩尾 一豊
第2回	地域の現状と課題について	古賀市副市長 柴田 俊一
第3回	福岡市、東区の特徴と東区の課題提案	福岡市東区 地域支援課 原 慎太郎
第4回	Introduction to Community Building	NPO 法人九州コミュニティ研究所 ディレクター 奥村 貴仁
第5回	皆で考えた相島を元気にする 28 の取り組み	新宮町政策経営課 大賀 純治
第6回	小郡市が目指す「食と農の複合集客施設」	小郡市長 加地 良光

教育・文化の振興、経済活性化へのアプローチを積極化

小中学生への学習支援活動や地域のまちづくり活動に積極的に参画しています。また、地域との包括的連携協定に基づき、各行政や地域の課題解決に取り組んでいます。

■ 新宮町との取組



新宮町立立花小学校ICT体験授業の実施(平成31年2月)



大学ネットワークふくおか「学生地域活動大賞」活動報告(平成30年10月)

■ 島原市との取組



島原市包括的連携協定締結(平成30年10月)



島原地域ICTクラブ成果発表「福工大杯ロボット競技会」(平成30年10月～12月)

■ 古賀市との取組



モビリティ・マネジメントの取組



古賀市特産スイーツコーンのプラズマ照射実証実験

■ 医介学連携の取組



第8回 医介学連携講座「年のせい?元気がないのは『心ぞう』の叫び」の開催(平成30年10月)



奈多創生園「作品展」に出席(平成30年10月)

地域の環境保全、安心・安全へのアプローチを積極化

ビオトープ活動や清掃活動への参加等、環境保全の取組を行っています。また、防犯・防災・交通安全に関する課題解決策提案やボランティア活動への参加も行っています。

■ ビオトープ・里山保全活動



長崎大学との大学間連携ビオトープ研究交流会(平成30年8月)



自然観察会(平成30年10月)

■ 東部地域大学連携の防災・防犯活動



性犯罪抑止キャンペーン(平成31年2月)



平成30年度福岡市市民総合防災訓練(平成30年6月)

■ 地域清掃活動



新宮町クリーン作戦(平成30年4月)



ラブアース・クリーンアップ2018(平成30年6月)



放生会・東区合同防犯パトロール(平成30年9月)



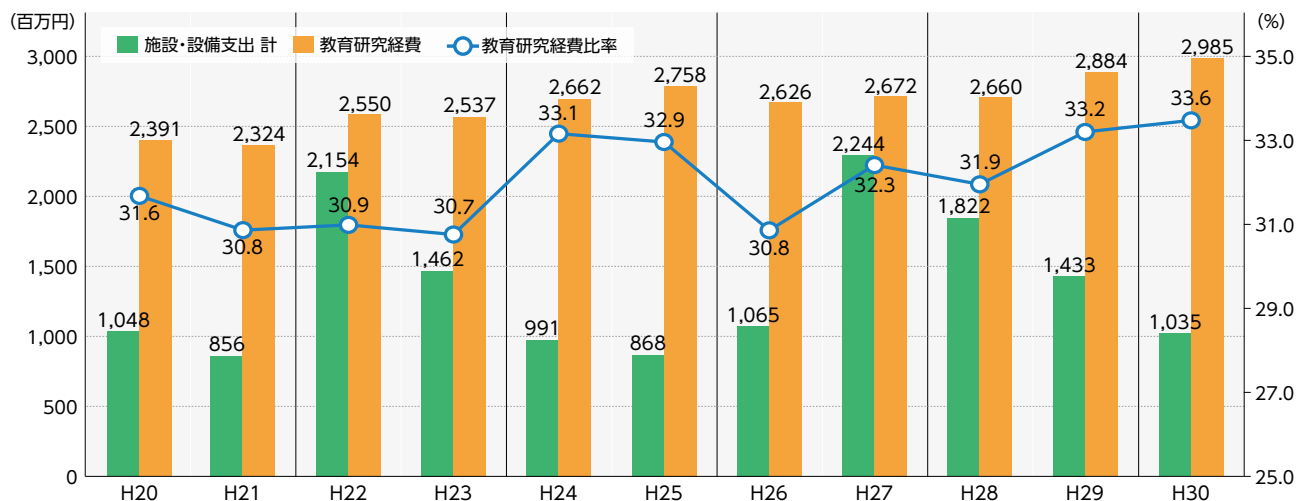
飲酒運転撲滅キャンペーン(平成30年8月)

6. 財政基盤の安定と組織ガバナンスの強化(戦略VI)

健全財政を礎にして、教育・研究活動への積極的な資金投下を継続しています。

経営・財政運営の基本の方針は、「健全財政を堅持しつつ、教育・研究活動へ積極的に資金投下する」ことです。これに沿って、教育・研究活動への最大還元を継続しています。

■施設・設備支出、教育研究経費(比率)推移

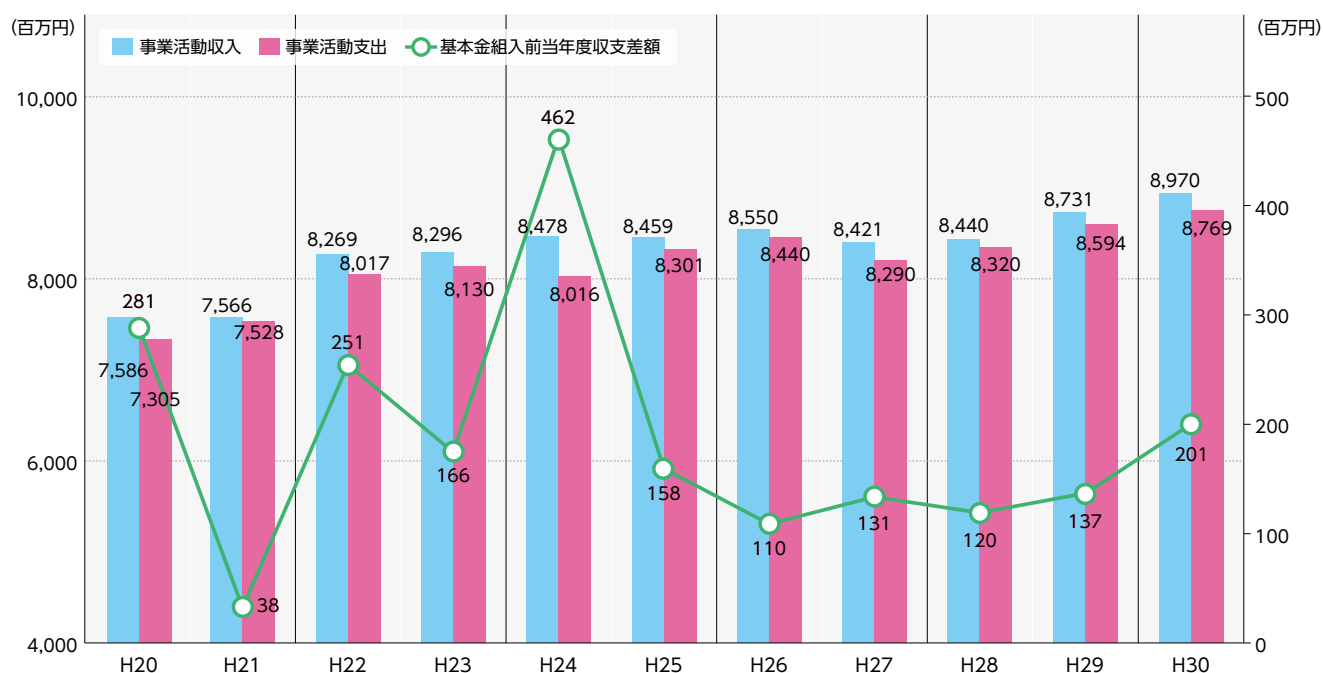


- ▶ 過年度10年間の教育・研究諸活動支出累計は約170億円(減価償却費を除く)、施設・設備支出(教育・研究環境整備費用)累計は約140億円になります。

14年連続で計画どおりの収支差額プラス(黒字)を計上しています。

PDCAによる経営管理の仕組みによって計画実現性を高めています。経営の効率化・安定化を実現し、積極的資金投下と安定財政を高次でバランスさせ、14年連続で計画どおりの黒字を計上しました。

■基本金組入前当年度収支差額推移

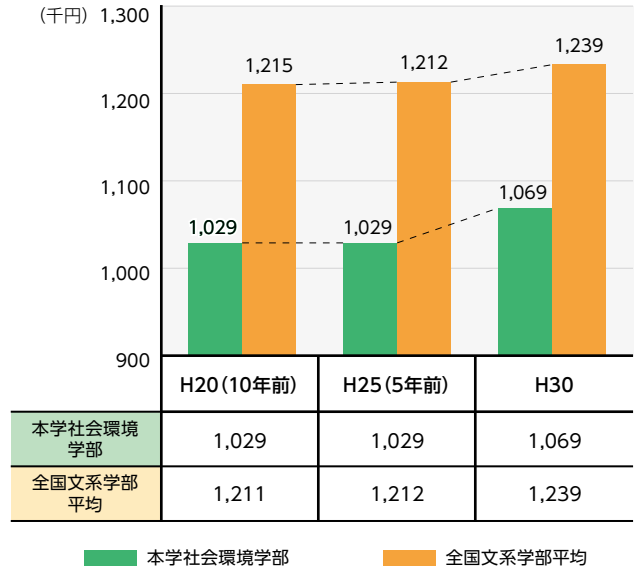
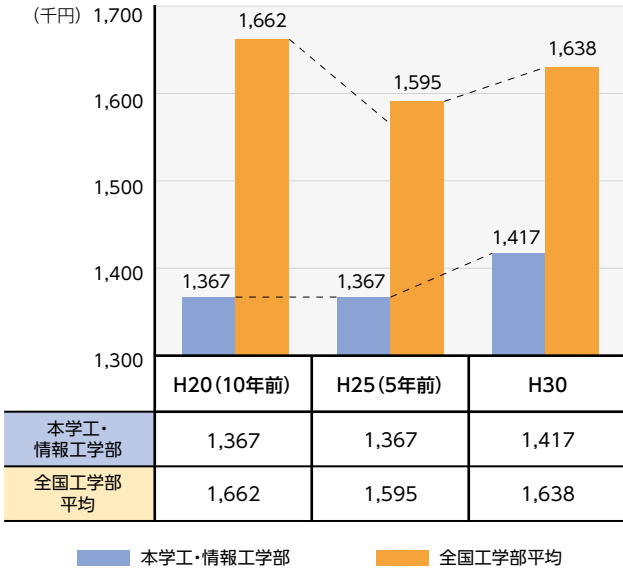


全国屈指の低学費を維持。経済的理由での退学等を抑制しています。

全国屈指の低学費で保護者の経済的負担を軽減しています。また、修学期間中の経済的困窮に柔軟に対応(独自奨学制度・分割納入対応等)し、経済的理由による退学等は極めて低い水準にあります。

■大学・学部の学費の相对比较(工学部・情報工学部)

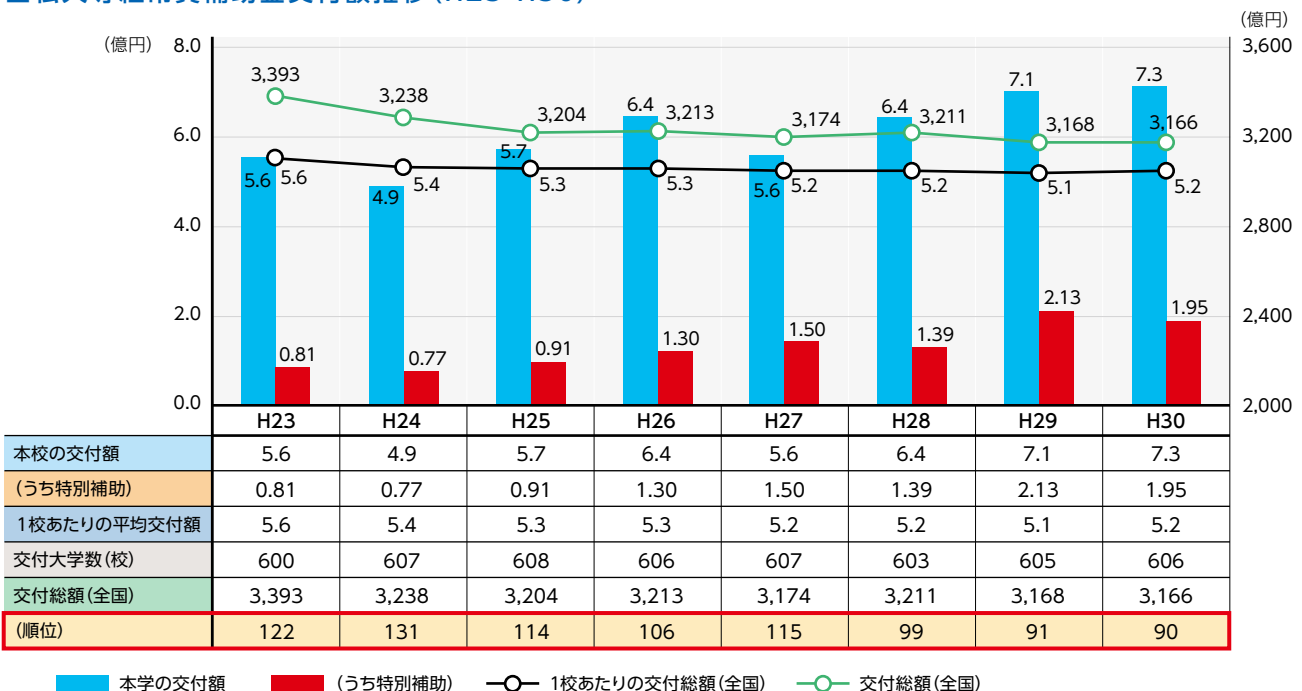
■大学・学部の学費の相对比较(社会環境学部)



国等の助成事業(社会ニーズ)との適合度合いを高め、最大の公的助成を確保しました。

全国私立大学等の経常費補助金が減少する中、私学行政の求めに沿って教育・研究活動や学校運営の改善を積極的に進めることによって、経常費補助金は過去最大となりました。

■私大等経常費補助金交付額推移(H23-H30)



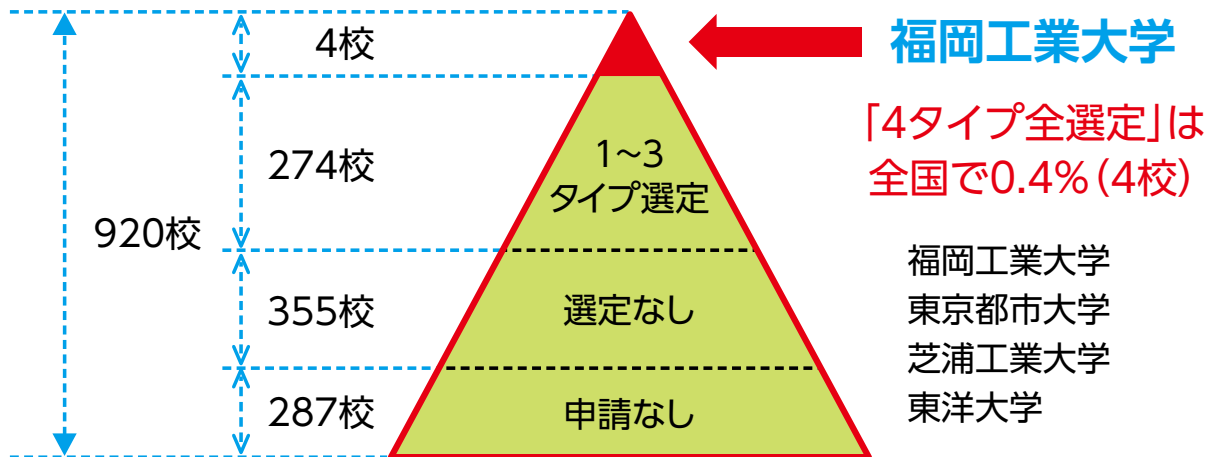
▶ 補助金交付順位は141位/480校(15年度)から、90位/571校(30年度)に上昇しました。

7. 学校運営に対する外部評価

文部科学省の改革総合支援事業で全国920校のトップにランキングされました。

文部科学省私立大学等改革総合支援事業のタイプ1～4において、平成28年度より3年連続で4タイプ選定となりました。本学の改革・行動力が高く評価されています。

■文部科学省私立大学等改革総合支援事業の全国の選定状況



- ▶ 私立大学等改革総合支援事業: 文部科学省と日本私立学校振興・共済事業団が一体となって、積極的に学校改革に取り組む大学等を評価・選定・支援するものです。この事業を統合的・一体的に推進することを本学の教育改革・改善の基本的な考え方としています。

経営体制、経営・財政ガバナンスについて格付会社から継続して高く評価されています。

積極的・効率的な施設・設備投資や、事業計画と予算の連動性の高さ、予算管理精度の高さが高く評価されています。R&Iの格付方向性は「安定的」から「ポジティブ」に上昇しました。

■格付会社2社からの評価 (R&I: (株)格付投資情報センター JCR: (株)日本格付研究所)



格付評価のポイント

- ・MP・AP・財政計画を結びつけて実質化する等、教職員が一体となって改革を推進、成果を上げている。
- ・文科省「私大等改革総合支援事業」大学4タイプ全選定は、MP・APの推進を通じた経営改革の成果である。
- ・既存施設・設備の計画的な維持更新と教育・研究への積極投資を両立、予算統制力は強い。
- ・収支余裕度を計画的に低く設定、地道な改善を重ね、安定したキャッシュフローを確保している。
- ・安定した財務構成は、今後も維持可能である。

経営・財政の管理手法について、学校経営研究誌・研究者から高く評価されています。

経営管理の仕組みやその成果が、日本私立学校振興・共済事業団や日本私立大学協会等の関係団体、全国の教育関係者・大学行政の研究者等から高く評価され、多くの学校経営研究誌等で紹介されています。

■ 本学の経営・財政の管理手法が好事例とし紹介された一例（総数約60誌）

<p>「大学経営強化の事例集」</p> <p>文部科学省委託研究において、本学の経営計画およびその実行計画の管理運営システムについて、数少ない好事例として紹介されました。</p> <p>(2007.3)</p> 	<p>「大学外組織評価研究会」</p> <p>大学評価・学位授与機構の研究で、本学の経営管理システム、特に様々な取り組みの評価活動について、他大学に重要な示唆を与えるとして評価されました。</p> <p>(2009.3)</p> 	<p>「大学評価・学位研究」</p> <p>本学のPDCAの一環として行う事業評価・改善の手法が、非営利組織の経営論の権威であるピーター・F・ドラッカーの経営理論との対比によって評価されました。</p> <p>(2010.3)</p> 
<p>「カレッジマネジメント」</p> <p>PDCAサイクルにより大学経営を高度化させる経営管理の仕組みが、他大学の先進事例として紹介されました。</p> <p>(2015.7)</p> 	<p>「学校法人」</p> <p>経営計画をサポートする財政計画と予算管理の役割について、セミナー講演の抄録が新春号巻頭に掲載されました。</p> <p>(2016.1)</p> 	<p>「大学・短期大学経営の事例集 ～経営基盤の強化のために～」</p> <p>私学スタッフセミナー（日本私立学校振興・共済事業団）での講演抄録が冊子としてまとめられました。</p> <p>(2017.3)</p> 
<p>私大振興検討会議「議論のまとめ」</p> <p>28年10月に、文部科学省「私立大学等の振興に関する検討会議」の席に学園の常務理事が招致され、経営改革事例を報告した議論のまとめが公表されました。</p> <p>(2017.5)</p> 	<p>「Between」</p> <p>IR活動がPDCAサイクルを回す装置として機能し、経営のガバナンスや改善・改革が円滑に進み、入学志願者増などの成果に繋がっている好事例として紹介されました。</p> <p>(2018.1-2)</p> 	<p>「大学改革を成功に導く 特色ある取組事例集」</p> <p>中期経営計画を軸とした経営管理システムと情報共有による教職協働での改革の実践が好事例として紹介されました。</p> <p>(2019.2)</p> 

本学の学校運営等の事例報告、行政・私学団体等の外部機関の視察が拡大しました。

施設・設備への積極投資と財務運営（教育・研究の改善・高度化を主目的とする予算制度）の両立が行政機関や他の教育機関等から高く評価され、事例報告や視察受入が拡大しています。

■ 事例報告の一例

発表日	発表機関等	テーマ
H28.10.13	日本私立学校振興・共済事業団 私学スタッフセミナー	大学職員の役割について～大学ニーズの高度化・多様化に対応する職務～
H28.10.24	文部科学省 私立大学等の振興に関する検討会議	「経営強化・財務面の体質強化」の取組事例報告
H29.2.23	日本私立大学協会 私立大学経営問題協議会	経営的視点で見た募集戦略
H29.10.6	日本私立大学協会附属 私学高等教育研究所公開研究会	経営管理の仕組みに内包する2つのIR～IR（調査分析・情報公表）活動の概要～
H29.11.10	一般社団法人日本能率協会 大学マネジメント改革総合大会	中期経営計画を実現するマネジメントシステム
H30.7.29	大学コンソーシアム京都	経営計画を実質化するマネジメントシステムと2つのIR～志願者12年連続増を達成するまで～
H30.8.27	日本私立大学連盟 コンシェルジュ会議	大学改革を実質化する組織運営
H30.12.15	東京大学大学院教育学研究科 「大学経営・政策各論」講義	経営戦略としての財務運営～学校運営における財政計画の重要性～
H31.4.19	地域科学研究会 高等教育情報センター	「経営視点で見る情報公開」～マネジメントシステムに組み込んだ情報公開～

■ 活発化する外部教育行政関係団体等視察の状況

来訪日	来訪者	来訪目的	来訪日	来訪者	来訪目的
H29.2.2	日本私立大学協会 私学高等教育研究所	IRに関するヒアリング調査	H30.6.6	愛知工業大学 法人本部	経営計画の実質・実効化方策についてヒアリング
H29.6.27	文部科学省 私学助成課長	私学助成の効果に関するヒアリング	H30.6.28	文部科学省 私学助成課長	(H29.6訪問時の追加ヒアリング)
H29.6.29	学校法人鶴学園 広島工業大学 企画室	経営計画の実質・実効化方策についてヒアリング	H30.7.27	桜美林大学 (元私学事業団)	PDCAによる財政運営についてヒアリング
H29.9.1	大学行政管理学会 事務局長他	理事会ガバナンス等に関するヒアリング	H30.8.23	学校法人明星学苑 法人本部理事長室	学校運営の可視化に関するヒアリング
H29.11.17	共立女子大学 法人本部	マネジメント・ガバナンスに関するヒアリング	H30.9.28	文部科学省 大学振興課長	教育改革・研究高度化に関するヒアリング
H30.1.23	西南学院大学 経営企画室	経営・教学運営の可視化に関するヒアリング	H30.10.12	私学事業団 経営情報センター長	経営計画・財政計画に関するヒアリング
H30.2.23	文部科学省 私学助成課長	私学助成の効果に関するヒアリング	H30.10.12	学校法人明星学苑 学長補佐	教育改善全般に関するヒアリング
H30.4.20	学校法人桃山学院 (元私学事業団)	PDCAによる経営・教学管理についてヒアリング	H31.1.22	学校法人関西学院 総合企画部長	経営計画、目標管理等に関する意見交換
H30.4.27	文部科学省 私学部参事官	理事会ガバナンス等に関するヒアリング	H31.3.7	学校法人東亜大学学園 事務局長他	経営計画・財政計画に関するヒアリング

1. キャンパスの施設・設備

キャンパス全域の環境整備が完了。様々な活動がいっそう活発化しています。

平成9年より段階的に進めてきた「先進工業技術・ICT技術・自然環境が調和したキャンパス」への整備が完了しました。教育・研究機能高度化、課外教育活発化、キャンパスライフの利便・快適性が向上し、学術・文化・スポーツ等の諸活動はいっそう活発化しています。

■ 国際交流会館

■ 新宮総合グラウンド・坦心寮 (男子寮)

■ E棟 平成28年8月竣工

■ F棟 平成29年8月竣工

■ α棟

■ 附属城東学校

■ A棟

■ B棟

■ C棟

■ コスモス寮 (女子寮)

■ 高校体育館

■ 和臼グラウンド

■ 大学クラブハウス

■ FITアリーナ

■ FITアリーナWESTコート

■ おとめが池

■ 本部棟

■ D棟

■ FITホール

■ α棟

■ D棟

■ フットサル場・スケートリンク

■ 塩浜総合グラウンド

■ 屋内練習場

様々な施設が充実。文化・スポーツ・地域交流がいっそう活発化

文化・スポーツ・地域交流施設としてアリーナ、ホール、スタジアム、セミナーハウス等を、大学生生活サポート施設としてウエストコート、相撲場、BBQ施設等を設置しています。



FITアリーナ



FITホール



FITスタジアム



FITセミナーハウス



FIT Link (附属図書館)



エクステンションセンター



モノづくりセンター



B棟学生ラウンジ



FITアリーナウエストコート



相撲場



FIT BBQ



おとめが池遊歩道

▶ ホームページに掲載している「googleストリートビュー」や「バーチャルキャンパス」で、実際の施設・設備の様子を見ることができます。

施設等整備計画が完工。キャンパス全域の利便・快適性がいっそう向上

国・社会の大学改革ニーズへの積極的な対応を目的に、キャンパス全域の再構築を行いました。これらを存分に活用し、「全国トップクラスの教育拠点」となることを目指します。

(平成27年7月計画策定)

<キャンパス整備の主要な目的>

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ① アクティブラーニングの拡大 | ⑤ 研究高度化・実用化の加速 |
| ② 情報処理・情報編集技術の高度化 | ⑥ キャリア教育・グローバル化教育の高度化 |
| ③ ラーニング commons の学習機能向上 | ⑦ 地域社会・産業界と連携強化 |
| ④ キャンパスライフの快適性向上 | |
- ・その他「全国トップクラスの教育拠点の形成」に向けた上記7つの総合的目標の統合・補完的施策

■ 当年度に実施した主な施設整備



A棟ソーラーシステム更新



C棟地下ホール改修



本部棟2F事務室改装

▶ 城東高校は、令和元年度より、学校改革と生徒募集力のいっそうの増強に資することを目的に施設・設備整備計画に着工します。

2. 大学院の取組

高度な研究者・専門職業人を育成・輩出。 進路決定状況は「過年度最高」となりました。

学生の研究活動のいっそうの高度化に向けて、教育・研究プログラムの改善や研究活動、キャリア形成・就活支援等のサポートを積極化しています。国内外の学会等での高評価や良好な進路決定状況(大学院初の就職率・実就職率100%達成)など大きな成果が生じています。

■ 国際学会表彰の状況(一部掲載)



博士課程 知能情報システム工学専攻2年(徳安研究室)
佐藤 拓広 さん(嘉穂東高校)

第24回人工生命とロボットに関する国際シンポジウム
AROB 24th 2019「Young Author Award」受賞

発表題目:「Evaluation of Muscle Coordination in Lower Extremities during Pedaling Exercise」



生命環境化学専攻1年(三田研究室)
佐世 美帆さん(福翔高校)

Asia Oceania Geosciences Society 15th Annual Meeting Biogeosciences部門 Best Student Poster Award受賞

発表題目:「Structure Analysis of Amino Acid Polymer Synthesized from an Amino Acid Precursor」



電気工学専攻2年(田島研究室)
江口 卓弥さん(三養基高校)

ICRERA 2018 (7th IEEE International Conference on Renewable Energy Research and Applications) Best Poster Award

研究内容:「焼酎粕由来活性炭を用いたフレキシブルスーパーキャパシタの電極厚みの最適化」

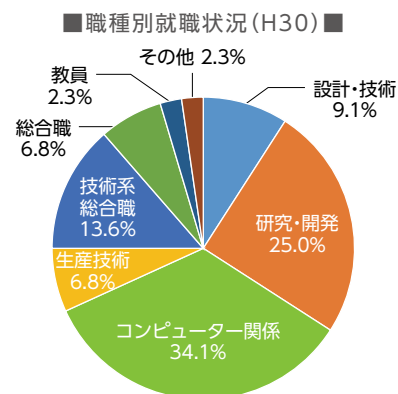
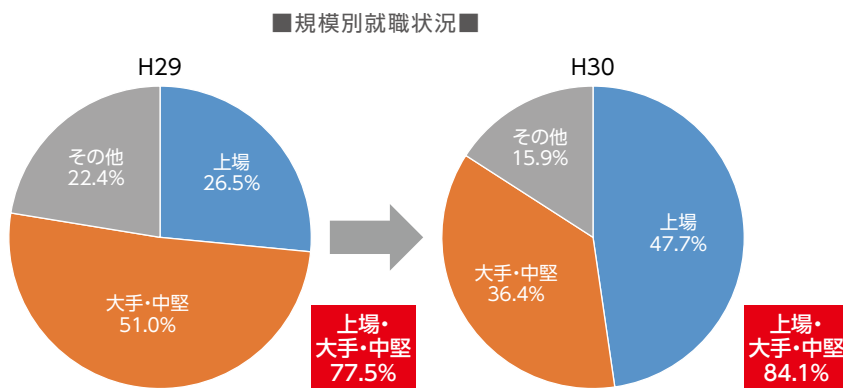
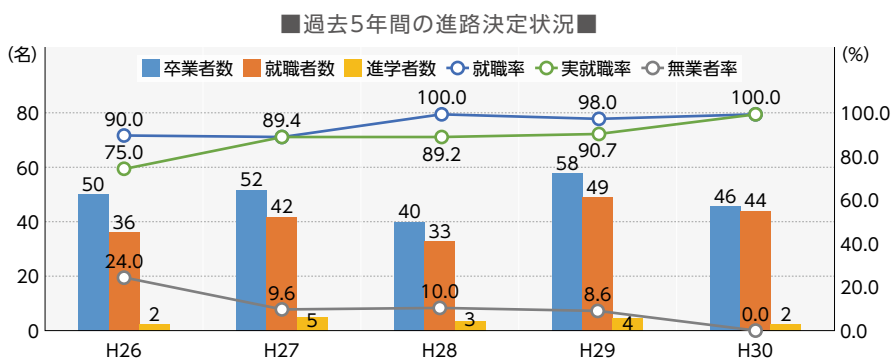


電子情報工学専攻1年(江口研究室)
桑原京華さん(博多青松高校)

国際会議ICIEE2019 (2019 8th International Conference on Information and Electronics Engineering) ベストプレゼンテーション賞

発表題目:「The Development of an LED Lighting Circuit Using High Gain Buck-Boost Converters」

■ 大学院生の就職状況



▶ 上場企業や大手・中堅企業(資本金3億円以上または従業員300人以上)への就職率が約8割に上昇。研究・開発職への採用も増加しました。

教育・研究の外部交流を推進、修学支援・研究活動のサポートを積極化

学生の国際的通用性を高めるため、語学教育、海外研修、国際シンポジウム開催など教育・研究の外部交流を推進しています。その成果拡大にむけて学業優秀者奨励制度、海外研修派遣費用補助、学会発表交通費補助などの修学サポートを充実させています。

■ 学術交流を目的とする教員帯同型海外プログラム

プログラム名(帯同教員)	訪問先	期間	活動の様子
イギリス/加速するグローバル化への心構えを養う英国研修(大山和宏)	ノッティンガム大学、ケンブリッジ大学、Romax Technology社等	9日間	
カナダ/再生可能エネルギー発電と蓄電分野の学術研究交流プログラム(田島大輔)	ブリティッシュコロンビア大学、BALLARD社、Solar Schneider Electric社等	10日間	
アメリカ/日米の文化及び歴史、起業家精神を学ぶシリコンバレー研修(北崎 訓)	サンノゼ州立大学、スタンフォード大学、Apple社等	10日間	

■ 国際シンポジウムの開催



国立高雄科技大学(台湾) 大学先進教育-先端技術国際セミナー(平成30年12月)

▶ 本学の優秀な学部生が、経済的な理由で大学院進学を断念することがないように大学院修士課程在籍期間に奨励金を支給(採用者数:各専攻2名以内・特典:毎月8万円の奨励金支給(最大24か月))する制度を設けています。

産業界との交流を推進、キャリア形成・就活支援を積極化

学生が自らのキャリアについて考え行動する力を身に付けるため様々なキャリア形成・就活支援を行っています。特に、教員による企業訪問や教員帯同型工場見学など企業交流を推進しています。

■ 大学院トップアップ講座

H30年度実績 受講者21名の進路決定状況	
上場・大手・中堅 企業への就職	20名
大学院 (博士課程)進学	1名

■ 指導教員帯同型工場見学



工場見学および意見交換
(株)THK 教員2名・学生7名が参加



工場見学および意見交換
三和シャッター(株) 教員3名・学生26名が参加

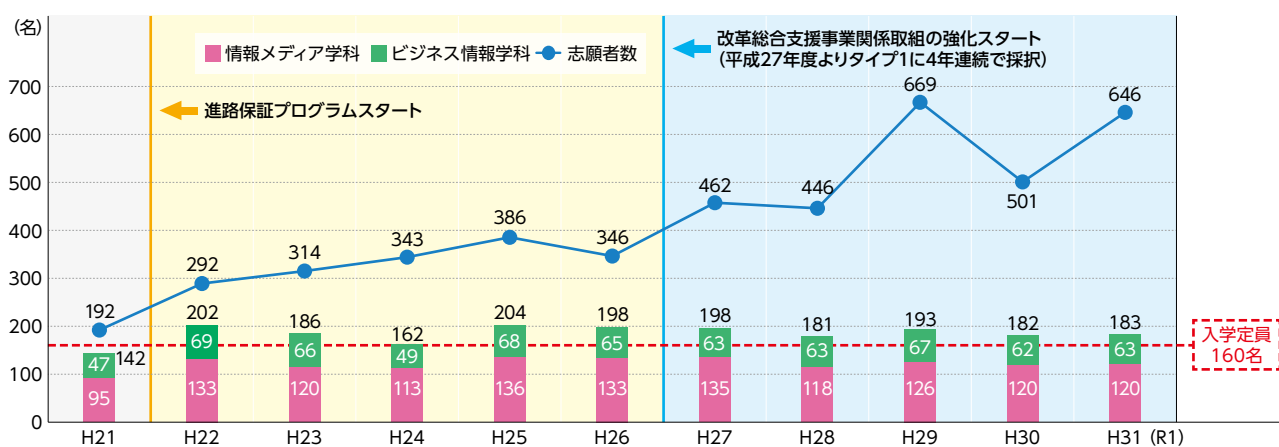
▶ 平成30年度の主な就職先一覧(東証一部上場):アイコム(株)、曙ブレーキ工業(株)、(株)アルプス技研、(株)NSD、大崎電気工業(株)、京セラ(株)、(株)三技協イオス、シャープ(株)、(株)ジャステック、(株)ディー・エヌ・エー、(株)トラスト・テック、日本ケミコン(株)、日本電産(株)、日本無線(株)、富士ソフト(株)、富士通(株)、(株)三井ハイテック(五十音順)

3. 短期大学の取組

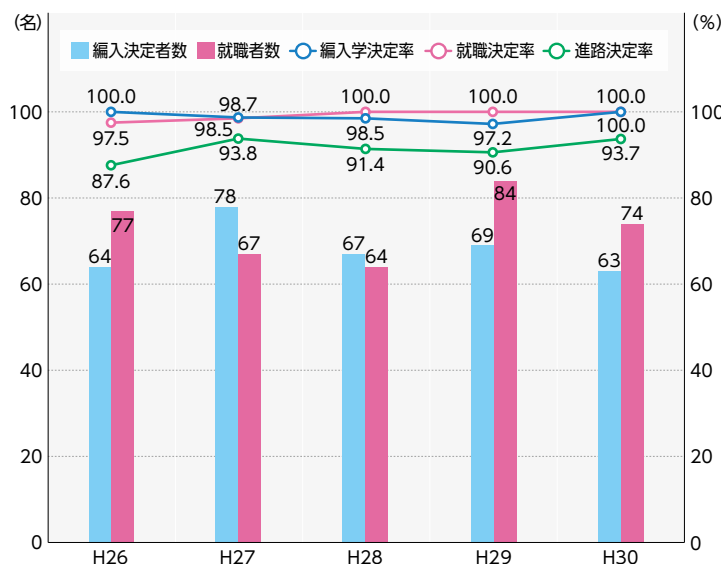
入学志願者は大幅増加、入学者確保は安定、進路決定も良好さを継続しています。

教職員一人ひとりが、学生一人ひとりに「親身になって」「親代わりに」「厳しく」関わった結果、その教育スタイルや学生の成長が企業や地域等から評価され、安定的な入学者確保や進路決定の良好さにつながりました。丁寧な教育を基盤とした好循環が生じています。

■ 志願者・入学者推移



■ 進路決定状況推移



編入学決定率 100.0%
 就職決定率 100.0%
 進路決定率 93.7%

	H26	H27	H28	H29	H30
卒業者数	169	162	162	171	159
編入学決定者数	64	78	67	69	63
就職者数	77	67	64	84	74
編入学決定率	100.0%	98.7%	98.5%	97.2%	100.0%
就職決定率	97.5%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%
進路決定率	87.6%	93.8%	91.4%	90.6%	93.7%

▶ <1学科(情報メディア学科)2コースに再編(令和2(2020)年4月から)>

次世代ICT社会を支える人材育成を目指し学科再編を行います。その具体的な方法として、プログラミング教育を軸とした1200時間の情報系専門科目の配置、実社会における課題解決型学習プログラムへカリキュラムの大幅転換を図ります。(文部科学省認可済)

編入教育プログラムを充実、4年制大学(編入学)希望者の合格実績100%を達成

約4割の学生が4年制大学への編入を目指します。編入先大学に対応したプログラムを多数用意しており、希望大学別試験対策講座や面接指導を徹底して行ったことが成果として結実しました。

■ 編入教育プログラム

英語、数学、物理、小論文などの集中課外講座、個別添削指導、外部試験(TOEICなど)活用など

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
国公立大学 (理系・文系) プログラム	正規科目 基礎講座 (物理・数学・英語)	先取り履修 志望校別 編入対策講座 (物理・数学・専門・英語・TOEIC)		弱点強化講座 (編入先別)
福岡工業大学 プログラム	基礎講座	工学部 科目等履修生 編入対策講座 (学科毎)	情報工学部・社会環境学部 科目等履修生 直前対策講座 (学科毎)	直前対策講座(社会環境学科) 弱点強化講座(学科毎)
私立大学 (理系・文系) プログラム	基礎講座	志望校 選択ガイダンス	直前対策講座(志望校別)	

編入支援

- 編入支援室の設置
- 編入支援スタッフの常駐
- 編入説明会の実施
- 志望大学別課外講座の実施
- 長期休暇課外講座の実施
- 面接指導・訓練
- 個別口頭試問対策
- 志望理由書の添削
- 志望大学別個別指導
- 正規科目によるサポート
- 近郊大学編入説明会の実施
- 遠方交通費支援 他

▶ 平成31年度編入合格者数(国公立大学): 佐賀大学3名、豊橋技術科学大学3名、九州工業大学2名、香川大学2名、鹿児島大学、岐阜大学、下関市立大学各1名、合計13名

社会人基礎力育成カリキュラムを個別指導により徹底、就職率100%を達成

「社会人基礎力を育成する課題解決型プログラム」「学生カルテを活用した教職員間の情報共有」など、本学の特徴を活かした個別指導の徹底により高い就職実績を実現しました。

■ 就職教育プログラム

希望職種別キャリア教育、ゼミ単位の特別支援、就職に有用な資格取得支援など

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
共通プログラム	業界研究	履歴書添削・面接の指導 能力適性検査(SPI)対策		検定対策講座 卒業研究
情報系・メディア系 プログラム	専門基礎 修得	ITパスポート CGエンジニア検定 マルチメディア検定 取得	基本情報技術者 取得	卒業研究
ビジネス系 プログラム	専門基礎 修得	秘書検定3級 医療事務3級 取得	日商簿記3級 秘書検定2級 ITパスポート 取得	日商簿記2級 秘書検定準1級 取得

就職支援

- キャリア系科目の充実
- 学内企業説明会の開催
- SPI試験対策講座の開講
- 面接指導・訓練
- インターンシップのカリキュラム化
- 履歴書・エントリーシートの添削
- 資格取得の促進
- 遠方交通費支援 他

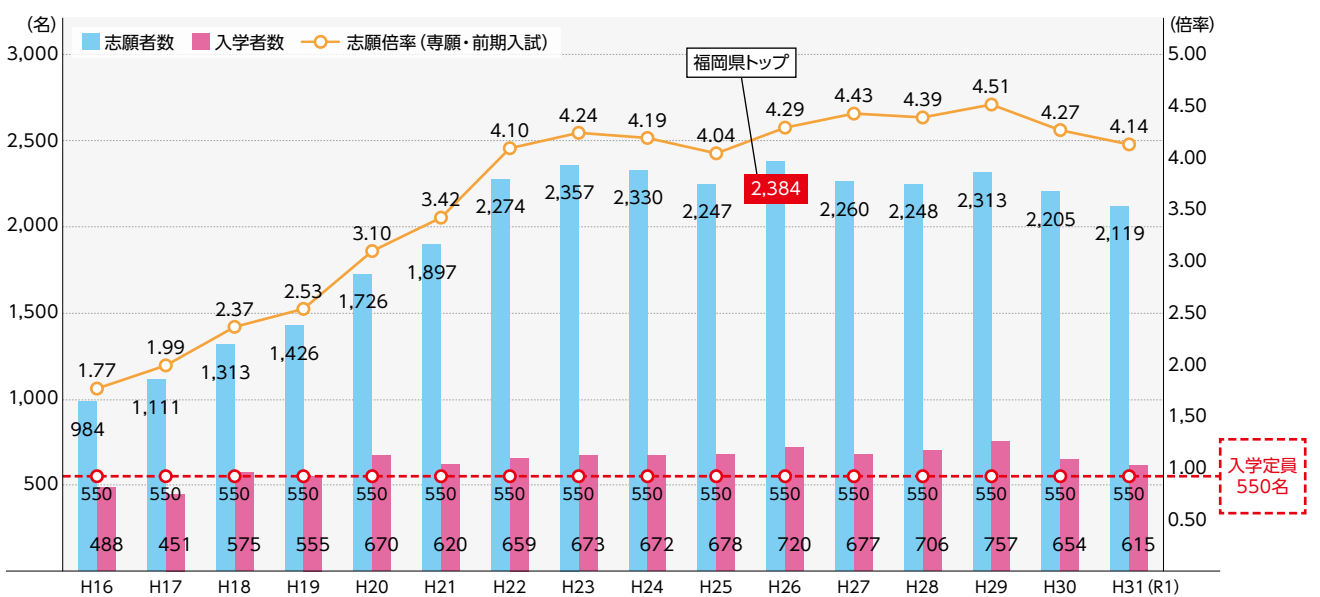
▶ 過去3か年の主な就職先: JR九州システムソリューションズ、富士通システムズウェブテクノロジー、安川情報システム、ISIDインターテクノロジー、ANAテレマート、不二精機、USEN-NEXT HOLDINGS、福岡中央銀行、大分信用組合、日本郵便、クボタアグリサービス、コネクシオ、日本ステリ、新日本非破壊検査など

4. 附属城東高校の取組

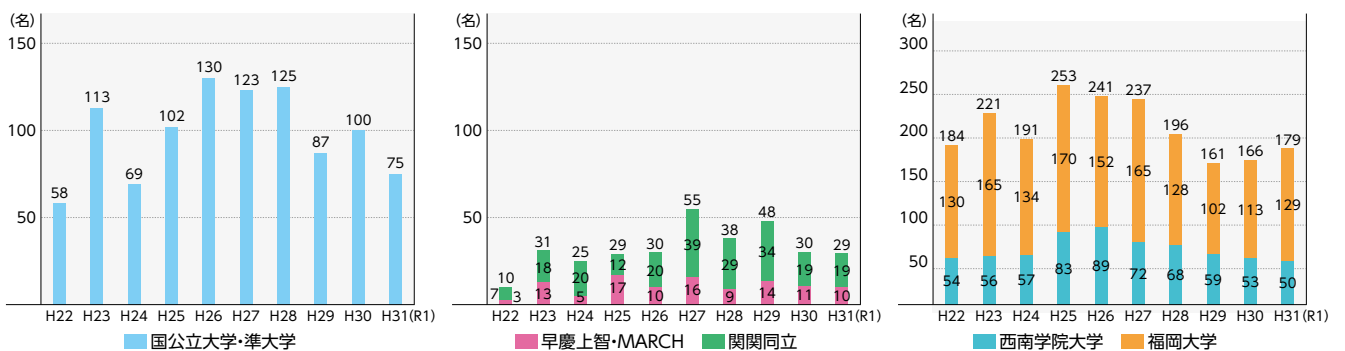
入学志願者・志願倍率は「県下トップクラス」で推移、入学者も安定確保。進学・就職状況は高位安定的に推移しています。

入学志願者は、改革元年(平成12年)以降右肩上がりの増加傾向です。平成31年度入試は2,119名を確保し、志願倍率も「福岡地区2位」と高水準でした。国公立・難関私大等の進学実績や就職実績も良好な水準を維持(就職率は6年連続100%)しています。

■ 志願者・入学者・志願倍率推移



■ 合格者推移



■ 就職状況推移

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
就職対象者	78	77	73	69	50	72	84	68	77	89
就職希望者	78	77	73	69	50	72	84	68	77	89
就職希望率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
就職者	78	77	73	68	50	72	84	68	77	89
就職率	100.0%	100.0%	100.0%	98.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

就職対象者: 卒業者数 - 進学者数

▶ 全国の高校の約7割が入学定員を確保できない中、入学定員(550名)を平成18年以降14年連続で安定的に確保しています。

課外活動は全国トップクラス、学力・社会人基礎力を高める土台を形成

部活動は、人間性・社会性を育む重要な教育の機会と考えています。当年度も、学術・文化からスポーツまで国内外で優秀な成績を修め、いっそう活発化しています。

■活発な課外活動の様子



ダンス部・American Dance Drill Team International Championship 2019 HipHop 1st Place (4回目)・総合第2位



吹奏楽部・第66回全日本吹奏楽コンクール 金賞



女子バレー部・第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会ベスト32(県大会優勝)



ロボット相撲・第30回全日本ロボット相撲全国大会・世界大会(自立型)ベスト16、同ベスト32、同(ラジコン型)ベスト32



チアリーディング部・2018九州チアリーディング選手権大会 高校の部 優勝



科学部・海の宝アカデミックコンテスト2018 最優秀賞 尾崎 光平さん(古塚中)

進学・就職成績向上対策をいっそう充実、実体験教育を積極化

早朝・放課後学習会、難関大特別学習会等や、資格取得支援、模擬面接等の進学・就職成績向上対策を実施しました。また、キャリア教育、環境教育、ボランティア体験、海外研修等、実体験教育を積極化しています。

■進学・就職指導、実体験教育の様子



校内大学説明会の様子



上前講義の様子(大分大学)



グローバル教育(中国人留学生との交流)



キャリア教育「よのなか研究会」の様子



良好な資格取得状況。国家資格シーケンス制御技能士3級14名合格(2年連続福岡県トップ)



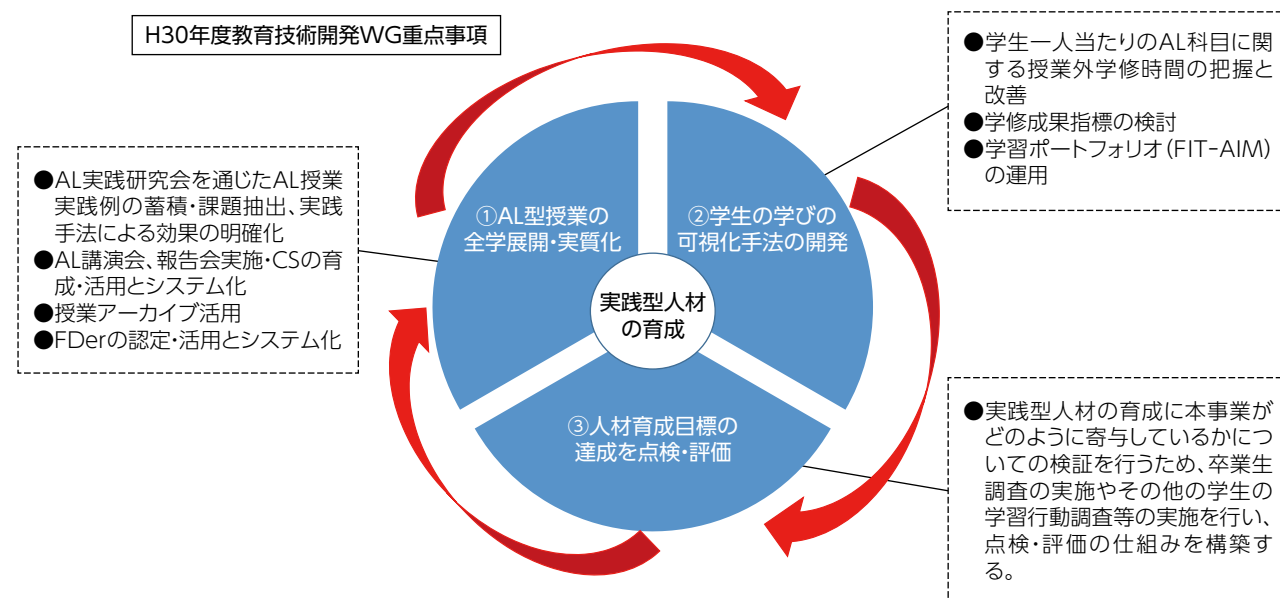
環境保全活動(ラブアースクリーン)

1. 教育改善の取組

教育技術開発グループを設置し、アクティブラーニング(AL)を積極化

FD推進機構のもと、教育技術開発ワーキンググループを中心にALの拡大、実践例の蓄積と課題抽出等を行っています。AL実践研究会やFD Cafe (FD研修会)の開催等を通じて教育改善に繋げています。

■AL型授業推進プログラムの評価・改善



授業改善に、学生の力(学修成果、意見・要望)を積極的に活用

AL導入科目については、事前研修を受けた先輩学生(クラスサポーター(CS))を採用し、受講生の理解度向上に繋がっています。また、学生の意見・要望を授業改善に取り入れるため、FDスタッフとして授業改善に参画しています。

■学生による教育改善活動の様子



クラスサポーター(CS)合宿(平成31年3月)



学生FD活動(Q-Conferenceでのポスター発表)(平成30年12月)

■学生FD(FIT-join)活動実績

時期	内容
H30/1月～4月	新入生オリエンテーションの企画運営
H30/6/18	FD Cafe「授業外の学修について話をしよう」開催 教職員と学生FDスタッフが授業外学修の実際について意見交換
H30/7月・10月	Join-Talks 開催 学生FDスタッフと参加学生の交流を図るとともに、学生の不安の解消や問題の解決などを一緒に考えていくイベント
H30/8/28～8/29	学生FDサミットin京都光華女子大学 参加
H30/10月～11月	教員インタビュー・授業参観実施
H30/12月	広報誌「Future Design 学生とともに、先生とともに創る」Vol2発行 学生FDの活動や教員インタビューの内容を紹介
H30/12/22	Q-Conference 2018(九州地区大学教育改善ネットワーク年次大会)にてポスター発表、ポスター優秀賞銀賞受賞

主体的な学修をポートフォリオ (学修記録・到達度自己評価等) の活用で積極サポート

学習効果をより高めるために学習ポートフォリオを開発し、30年4月から運用を始めました。学生は、授業の振り返りや疑問点の記録・授業外活動の記録を行い、教員は、それを教育改善や学習支援に役立てています。

■ 学習ポートフォリオ (FIT-AIM)



【主な機能】

- ① 半期の振り返りと目標設定
- ② 授業の振り返り
- ③ ループリックによる主体性評価 (「授業理解」・「講義への取組姿勢」)

【授業理解】

4	講義内容を越えた課題を行い理解できた
3	講義の内容を理解できた
2	講義の内容をほぼ理解し、分からない点や課題をまとめられた
1	講義の内容を半分程度理解した

【取組姿勢】

4	模範となる学習行動をとった、発展問題に挑戦する、友人に教える、リーダーを務めるなど
3	学習を深めるために自分から働きかけを行った、質問や意見表明を行うなど
2	あとで復習しやすいよう工夫しながら取り組んだ、板書以外の先生のコメントもメモするなど
1	学習環境を整え学習内容を理解しようと努めた、ノートを工夫する、集中して取り組むなど

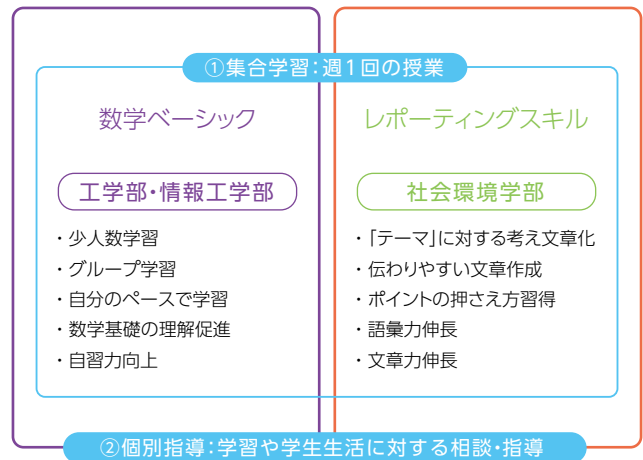
推薦入学者の入学前教育と、入学後の基礎学力補完教育を充実

推薦入学者を対象に、入学までの学習習慣維持と基礎学力補強を目的とした入学前教育を実施しています。また、新入生の学習サポートとして、1年間の課外カリキュラムを実施し、基礎学力と学習する習慣を身に付けさせています。

■ 入学前教育の概要

1.目的	入学までの学習習慣の維持と基礎学力の補強・向上
2.学習時間	約2ヶ月(1月～3月)
3.対象者	推薦入試合格者(約500名)
4.実施科目	工学部・情報工学部:数学(物理:希望者) 社会環境学部:日本語表現・小論文(英語、数学:希望者)
5.実施形態	e-learning等により自宅等で学習(スマートフォン、タブレットでの学習も可能)

■ フレッシュマンズスクールの特徴



■ 入学前教育e-learning実施フロー



※学習結果データは、各学科で初年次教育に活用する。

2. 研究高度化の取組

産業界・地域へ研究情報(研究成果、研究技術、研究機器)を積極的に公開・発信

大学の知的財産の創出は、その大半が助成金等の公的資金で賄われていることから、研究活動の成果として得られた研究成果等について、社会の公共財として広く公開・発信しています。

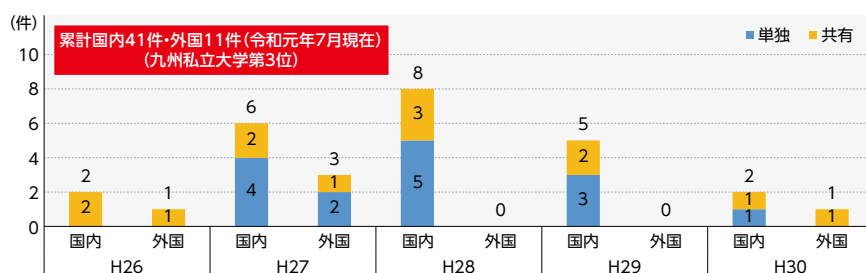
■平成30年度に特許登録された研究成果(国内2件、外国1件)

No.	特許番号(登録日)	発明者	共有者	発明の名称
1	6355731 (H30.6.22)	電子情報工学科 片山 龍一 教授	(株)イノバテラス	デバイス及び記録装置
2	米国10079032 (H30.9.18)	電子情報工学科 片山 龍一 教授	(株)イノバテラス	デバイス及び記録装置
3	6468528 (H31.1.25)	社会環境学科 森山 聡之 教授 他		端末の高度に基づくデータパケット送受信方法、システム及び送信元端末

■研究情報の公開・発信



■本学が権利を保有する特許取得 過年度5ヶ年の推移(企業との共有を含む(国内・外国))



近年、受託研究・共同研究が拡大、研究成果の実用化や権利化(特許登録)が着実に増加

- ▶ 技術相談、実用化・事業化ニーズの高まりに対応するため、専任のコーディネータを配置し、特許実施許諾への橋渡しを丁寧に行っています。

文部科学省の大型プロジェクト研究事業に数多く採択、研究成果の実用化を促進

医療技術への応用が期待されるナノ素材を活用した研究や大規模津波予測技術研究の開発など、研究成果の実用化に向けて学部横断でプロジェクト研究を進めています。

■文部科学省大型研究補助事業の近年の採択状況

■研究テーマ:物質・エネルギーデバイス研究センター整備事業

■採択年度:平成27年度

■期待される用途や効果

無機ナノシートを複合化した新開発素材によるウェアラブル端末や歩行・波力発電への展開が期待される革新的エネルギーデバイスの開発



■研究テーマ:先端計測技術研究センター整備事業

■採択年度:平成25年度

■期待される用途や効果

マイクロ波レーダー計測と画像センサ計測を組み合わせた4次元総合解析による津波予測システムの開発



■研究テーマ:ハイテクリサーチセンター整備事業

■採択年度:平成17年度

■期待される用途や効果

微生物とオゾン分解フィルターを組み合わせた排水浄化システムを開発し、酒類製造プロセス等で発生する廃棄物浄化に活用



■研究テーマ:次世代マイクロ/ナノ金型開発センター整備事業

■採択年度:平成16年度

■期待される用途や効果

ナノレベルの精密加工技術を開発し、自動車産業等で求められる精密金型製作に活用



新たな研究スペースを創造、学部・大学院生の萌芽的研究を積極支援

F棟（インキュベーションスタジオ3）は、学生の実社会ニーズへの対応能力を高めるための研究開発技術者養成施設として、萌芽的研究活動をいっそう活発化させています。

■ F棟（インキュベーションスタジオ3）での活発化する学生研究活動



F棟（インキュベーションスタジオ3）の全景



「環境に優しい自動車・鉄道車両・発電システムに関する基礎と応用研究」



「フラッピング方式水力発電の研究」



「電気自動車用駆動システムの開発」「燃料電池自動車の開発」

▶ 上記を含め、全25件の学生を主体とする研究活動を支援しています。

社会参画・実体験を重視し、学生研究・PBL（課題解決活動）の活動を積極化

「i-Tech LAB.」（情報モノづくりセンター）は、PBL活動を通じて、学生の独創的な発想を活かす新たな技術開発拠点として、研究活動をさらに活発化させています。

■ 「i-Tech LAB.」（情報モノづくりセンター）で行う学生研究・PBL活動 <第8回サイエンス・インカレに入賞（ファイナリスト）したFIT Pocket LAB.の取組>



FIT Pocket LAB.のメンバー



情報システム工学科 森 亮輔さん（大分工業高校）・情報工学科 多田 信洋さん（立花高校）

テーマ：カプセルネットワークを用いた自然言語処理の有用性について—無操作によるスケジュール全自動入力システムの開発を目指して—



サイエンス・インカレ会場の様子



情報システム工学科 末竹 隆也さん（慶進高校）・手嶋 千尋さん（糸島高校）

テーマ：脳波計を用いた香りによるリラックス度の定量的評価—本能で惹かれる香りを探そう—

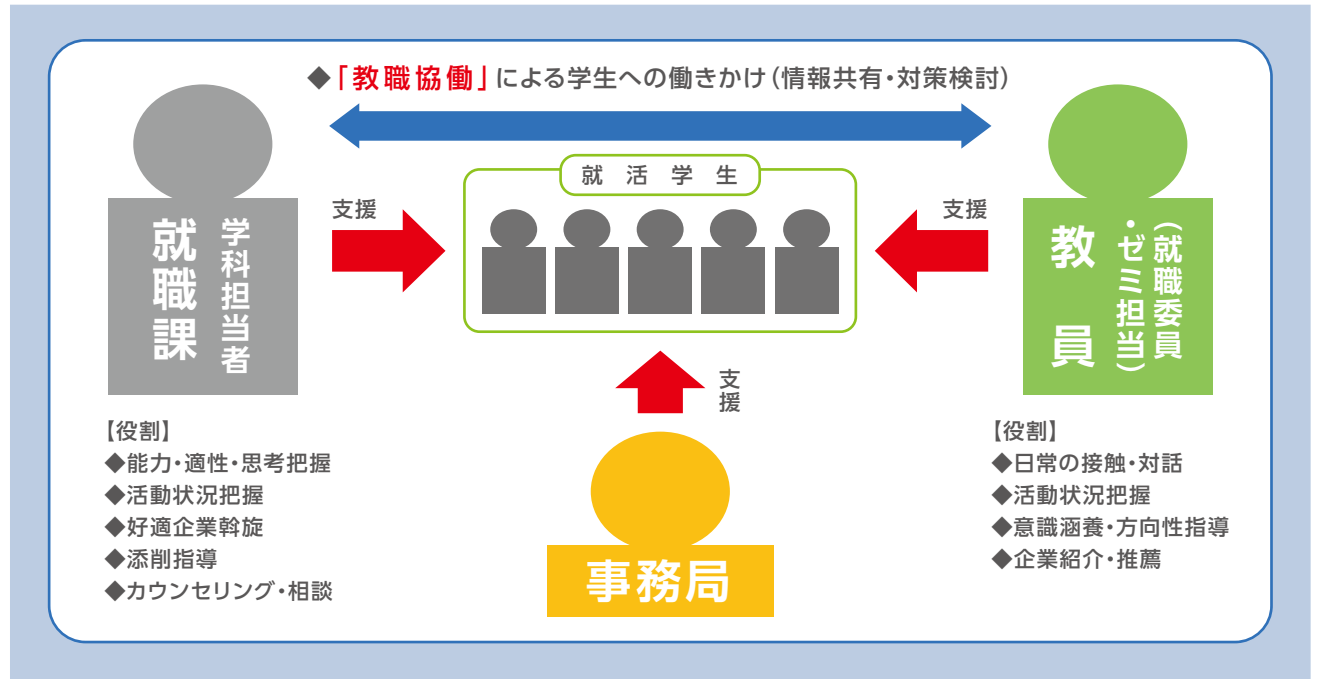
▶ <サイエンス・インカレ>自然科学分野を学ぶ全国の学部学生が自主研究の成果を発表し競い合う場として、文部科学省が平成23年度から継続して開催しています。

3. 就職支援の取組

3学部9学科・大学院9専攻・学生サービスセンターが一体となって就活をサポート

学科毎に就職支援担当教職員を配置し、就職活動状況の把握・ニーズ対応を行っています。また、学生サポート関連部署等全学が連携し、学生の就活を支援しています。

■「個」に重点を置いた就職支援体制



多角・多様な就活支援プログラムですべての就活学生をサポート

就職活動の早期化等を考慮し、入学直後から学生への意識付けや様々な支援プログラムを実施しています。保護者向けガイダンスや就活の経済的支援等によって、学生の就活を支援しています。

■学生向け支援講座



面接対策講座や業界研究セミナー等様々な就活対策講座を実施

■保護者向けガイダンス



大学3年生、大学院・短大一年生の保護者を対象に就職支援や就活状況についてガイダンスを開催

■就活交通費支援等

- 青地区: 36,000円
- 緑地区: 29,000円
- 黄地区: 24,000円
- ピンク地区: 6,000円
- オレンジ地区: 18,000円



就職活動の際の交通費支援や卒業後のサポート等を実施



キャリア教育型(単位認定型) インターンシップの積極化

正課に「就業実習」を設け、積極的な参加を促しています。また期間や目的の異なるインターンシップがあり、多角的に就業力の育成を図っています。

■ 就業力育成プログラムのカリキュラム

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
志向する力	キャリア形成							
共働する力		コミュニケーション基礎		日本語表現法				
解決する力		技術者倫理						
実践する力			インターンシップⅠ		インターンシップⅡ		卒業研究	
				特定専門科目				



課題解決型インターンシップ(10事業)事前ミーティングの様子(平成30年7月)

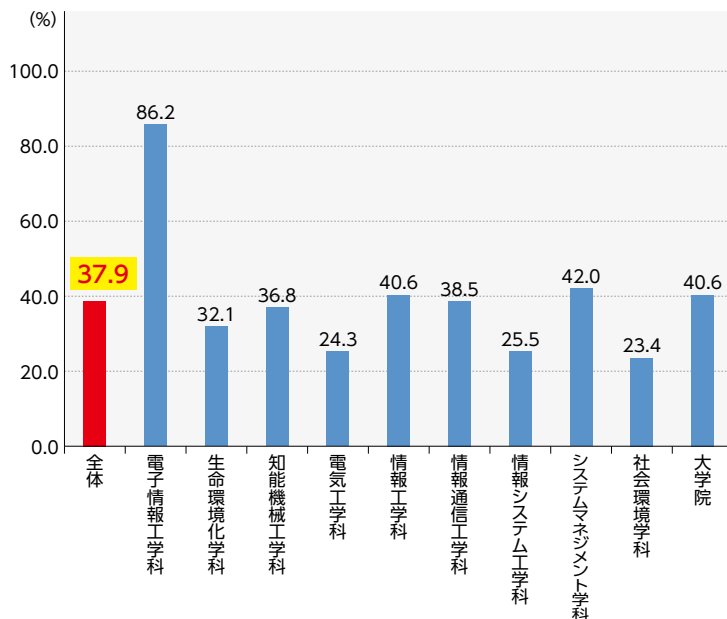


インターンシップ後の成果報告会でのポスター発表の様子(平成30年10月)

就活型(採用接続型) インターンシップの積極化

企業による短期インターンシップの増加に伴い、正課外でガイダンス等を実施しています。就職活動の早期化・短期化に対応するため、積極的な参加を促しています。

■ 夏季インターンシップ参加率



インターンシップフェア2019の様子

▶ 夏季インターンシップ参加率は37.9%(前年比16.7%向上)、7割の学生がインターンシップ参加企業を受験しています。

4. ラーニングサポートの取組

学修環境(グループ・個人学修、ディスカッション、調査・研究)を多様・高機能化

高度ICTを活用した先進的図書館「FIT Link」は、従来の図書館機能に加えて、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど多様な学修スタイルに対応しています。

■先進的図書館「FIT Link」フロア構成



FIT Link 5F
Silent Floor

高度な調査・研究に集中するための「超静穏環境」を整備

FIT Link 4F Quiet Floor

パーソナルな学習環境として、「静穏」な学習空間を整備



FIT Link 3F Active Floor

アクティブラーニングの拡大に向けて、透明性・開放性の高い学習空間を整備

- 利用者数は、延20万人(改装前の約2倍)
- 電子図書アクセス数 延21万回(前年比1.5倍)

JDreamⅢ(科学技術振興機構)、CiNii(国立情報学研究所)、TKCローイブラリー((株)TKC)、日経テレコン21(日本経済新聞社)など、研究DBや企業DBの利用が大幅に伸びています。

■グループワークエリア(3F)



学生は授業課題・資格取得対策、学生同士のコミュニケーションなど多様に活用しています。

■クリエイティブ・ブース(3F)



学生は高度ICT・電子メディアを積極的に活用し情報処理・編集、プレゼンテーション資料などを作成しています。

▶ 電子書籍(e-Book)・電子ジャーナル・データベースが充実しました。利用者数は大幅に拡大しています。

ICT教育環境(学内LAN、高機能PC、最新ソフトウェア)を高度化

IoT、AI、ビックデータなどの新たな技術に対応するために、全学共用情報基盤設備と学内ネットワークの全面リニューアルを行いました。学生に最新のICT教育環境を提供しています。

■最新のテクノロジーを駆使した新しい教育系情報基盤システム



超高速ネットワークサーバー



最先端PC教室(B22教室)



同左(B23教室)



同左(B24教室)



クリエイティブ・ラボ



IT commons1



IT commons2



プリントステーション

最新高性能PC464台導入、講義支援機能強化、学内無線LAN増設、学生用クラウドメールサービスなどの情報環境整備を実施

▶ このほか、学修支援システム(学修到達度点検評価)の構築、情報導入教育として情報セキュリティ講習(ハンドブックも作成)などを実施しました。

学生の知的探究心に対応し、実体験・創作活動のサポートを強化

学生のニーズに対応し、新たに2つの公募プロジェクト(車両整備活動、IoT受信アンテナ)活動を開始しました。学生主体のモノづくりプロジェクト活動(自主研究・創作活動・地域貢献活動等)は活発化しています。

■モノづくりセンタープロジェクト

7プロジェクト
学生 112名
が登録

- ソーラーカー
- ロボットコンテスト
- ロボット相撲
- 二足歩行ロボット
- 手作りアクセサリー
- 車両整備活動
- IoT受信アンテナ



車両整備活動、IoT受信アンテナプロジェクトを新設



ソーラーカーレース鈴鹿2018出場



二足歩行ロボット 第38回ヒューマノイドカップ優勝



プロジェクトリーダー研修の様子(平成31年2月)

学生の自己啓発意欲に対応し、スキル・キャリアアップサポート(資格取得支援)を実効化

電気通信系難関国家資格対策講座、TOEIC講座、公務員講座、SPI対策講座、環境・流通系講座、IT関連講座等、資格取得や就職対策等の講座を約60講座開講(正規課程と連携)し、学生の自己啓発意欲に応えています。

■エクステンションセンターを利用した資格取得の状況(平成30年度)

資格・試験名	受験者数	合格者数
Microsoft office Specialist (MOS)	450	402
うち、学科等専門科目連携	244	232
IT パスポート	115	24
うち、情報システム工学科単位要件	59	12
うち、システムマネジメント学科単位要件	23	3
CAD 利用技術者試験(2級)	8	6
バイオ技術者認定試験(上級)	2	0
// (中級)	18	8
応用情報技術者試験(AP)	3	0
基本情報技術者試験(FE)	100	22
情報セキュリティマネジメント	16	2
うち、情報工学部課外講座	14	2
WEB クリエイター(上級)	9	8
CG クリエイター検定(ベーシック)	1	1
CG エンジニア検定(ベーシック)	11	5
マルチメディア検定(ベーシック)	11	6
日商簿記検定(1級)	1	0
// (2級)	52	1
// (3級)	134	43
秘書検定(2級)	63	12
// (3級)	35	17
医科医療事務検定(2級)	4	1
リテールマーケティング(2級)	27	11
TOEIC	398	合否判定資格ではない
合計	1,458	569

■エクステンションセンターの7つのメリット

- 1 学内ダブルスクールによる、時間・交通費の節約
- 2 合格実績の高い講師招聘による、確実な資格の取得
- 3 生涯学習支援の一環として、受講料は安価
- 4 エントリー資格から難関資格まで、多彩に用意
- 5 団体受験会場として、普段の授業と同じ環境で受験が可能
- 6 受験料の割引が適用可能
- 7 過去3年以内の卒業生は、在学生と同じ受講料で受講が可能



難易度の高い第一種陸上無線技術士に5名合格(情報通信工学科)

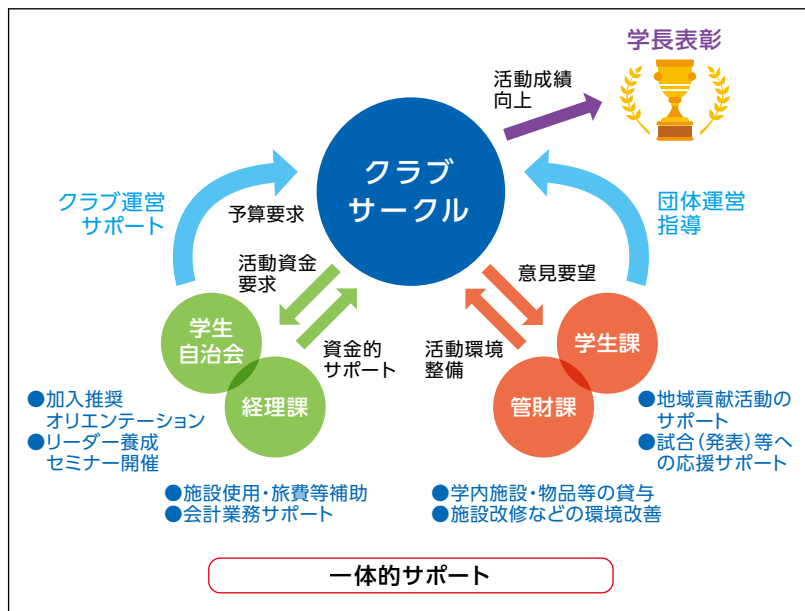
▶ 資格取得の合格実績の詳細はP50を参照してください。

5.キャンパスライフサポートの取組

クラブ・サークル活動も重要な学習の機会として、積極的にサポート

学術・文化・スポーツ活動等の課外活動も重要な学習の機会と捉え、積極的にサポートしています。学生の多様な要望を的確に把握し、活動環境の改善に努めています。

■クラブ・サークル活性化の枠組み



■クラブハウスの改修(平成30年4月)



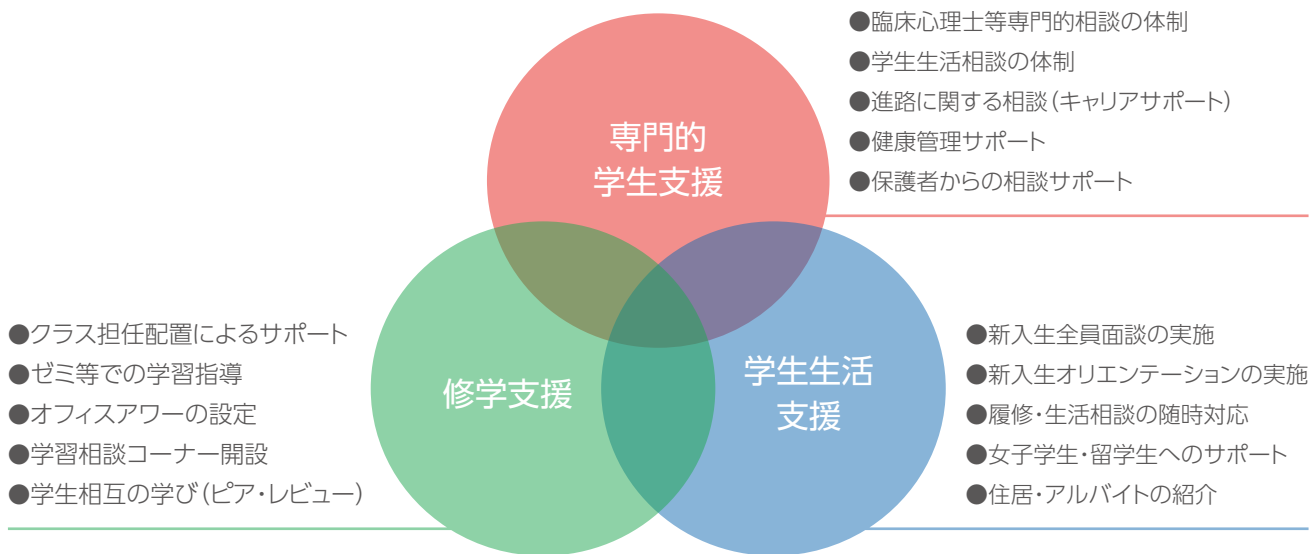
学生の課外活動の環境改善について、全クラブ・サークル(約60団体)のヒアリングを実施。早急な環境改善につなげています。

▶ 表彰結果はP39、各クラブ・サークルの加入者数(詳細)はP50を参照してください。

さまざまな悩み・不安に、親身に寄り添うカウンセリングサポート

学生生活や修学上の悩み・不安に対し助言・指導するカウンセリング制度を設けています。また、入学時健康診断や履修登録時Web健康調査等をもとに、早期の問題把握・サポートにも努めています。

■学生生活サポートの内容(取組例)



▶ 教職員対象の研修会等(学生相談室スタッフミーティング(週1回)、新入生全員面談事前説明会、障がい学生支援研修会など)を行い、学生対応スキルの向上を図っています。

学修・キャンパスライフ・就活・大学院進学を一体的にワンストップサポート

学生課、教務課、大学院事務室及び就職課を「学生サポートセンター」としてE棟に一体的に配置。学生の学修、学生生活、就職、大学院進学まで、親身なサポートを継続しています。

■学生サポートセンター（E棟）など学生生活をサポートする施設の充実



約50人の学生課、教務課、大学院事務室及び就職課スタッフが対応するサポートデスク・カウンター&コモンズ(E棟2階)



就職活動の個別指導の様子(E棟2階)



寛ぎ・コミュニケーションのためのデッキ(E棟2階学生広場)



コンビニ(セブンイレブン)を設置し充実した学生生活をサポート(B棟1階)



「デリシャス&ヘルシー」に配慮したカフェテリア(レストラン・カフェ)(C棟1階)



遊歩道&屋外カフェテラス(B棟)

▶ キャンパス全域のラーニングコモンズ化、課外教育施設のリニューアルも進め、快適性・利便性が格段に向上しました。

学業・スポーツ・芸術活動優秀者、経済的困窮者等を育英・サポート

学業・特技優秀者のいっそうの精励や、経済的に修学が困難な学生の支援等を目的とする奨学制度を設けています。また、学内ワークスタディ制度による経済的なサポートも行っています。

■本学独自奨学制度

<p>1</p> <p>入試成績の上位者に対し授業料を免除(全額もしくは半額)</p>	<p>2</p> <p>入学後の学業優秀者に対し授業料を半額免除</p>	<p>3</p> <p>スポーツ等の優秀者に対し授業料などを免除</p>
<p>4</p> <p>学生表彰制度(学術・文化・スポーツ・社会貢献・地域貢献などの分野で活躍した学生を、学長が表彰する制度)</p>	<p>5</p> <p>海外留学費用の全額もしくは一部を免除</p>	<p>6</p> <p>課外活動(クラブ、サークル)の活動費をサポート</p>
<p>7</p> <p>経済的に修学困難な学生に対し授業料を半額免除</p>	<p>8</p> <p>働きながら学ぶ学内ワークスタディ支援制度</p>	<p>9</p> <p>アルバイト(学内・学外)紹介</p>

■学内ワークスタディ制度



学内ワークスタディ:学生スタッフとして、学生が働きながら学ぶことで、修学意欲の高い学生の経済的な負担を軽減することを目的としています。

▶ この他、経済的理由により学費納入が困難な場合、一定の範囲で柔軟に延納・分納を認めるなど、学生・ご父母に親身に寄り添う相談・支援体制を構築しています。

学生表彰



上期学生表彰

■大学院

都 旺緑(工学研究科 博士後期課程 物質生産システム工学専攻、韓国)

ICICIC-2016 Best Paper Award

ICISIP-2016 Best Student Paper Award

産業応用工学全国大会2016 産業応用工学会賞

ELMAZI DONALD(工学研究科 博士後期課程 知能情報システム工学専攻、アルバニア)

BWCCA-2015 Best Paper Award

IMIS-2016 Best Paper Award

劉 怡(工学研究科 博士後期課程 知能情報システム工学専攻、中国)

EODWT-2017 Best Paper Award

藤井 一樹(工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻、東福岡高校)

電子情報通信学会 ネットワークシステム研究会 若手研究奨励賞

魏 民(工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、中国)

ICNN5 Best Poster Presentation Award

後藤 雅明(工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、大分舞鶴高校)

計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2017) 優秀講演賞

劉 強(工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、中国)

日本非破壊検査協会第26回超音波による非破壊評価シンポジウム ポスター賞

渡邊 雄大(工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、筑紫中央高校)

日本機械学会 三浦賞

日本塑性加工学会 第69回塑性加工連合講演会 優秀論文講演奨励賞

江口 卓弥(工学研究科 修士課程 電気工学専攻、三養基高校)

平成29年度電気設備学会全国大会 第十回九州支部賞、全国大会優秀賞

電気・情報関係学会 平成30年度(第71回)電気・情報関係学会九州支部連合大会 平成30年度優秀論文発表賞B賞

7th ICRERA Best Paper Award



下期学生表彰

藤田 貴(工学研究科 修士課程 電気工学専攻、須恵高校)

平成29年度電気設備学会全国大会 第十回九州支部賞、全国大会優秀賞

電気・情報関係学会 平成30年度(第71回)電気・情報関係学会九州支部連合大会 平成30年度優秀論文発表賞B賞

赤木 里騎(工学研究科 修士課程 情報工学専攻、大口高校)

電気・情報関係学会 平成30年度(第71回)電気・情報関係学会九州支部連合大会 奨励賞

吉野 悠(工学研究科 修士課程 情報通信工学専攻、佐伯鶴城高校)

電子情報通信学会 九州支部 学術奨励賞

東中 直樹(工学研究科 修士課程 情報通信工学専攻、嘉穂高校)

第26回電子情報通信学会 九州支部学生会講演会 学生会講演奨励賞

岩本 拓巳(工学研究科 修士課程 情報通信工学専攻、嘉穂高校)

映像情報メディア学会 放送技術研究会 学生発表部門 優秀賞

張 凱(工学研究科 修士課程 システムマネジメント専攻、中国)

日本オペレーションズ・リサーチ学会 九州支部若手OR研究交流会2018 最優秀発表賞

■大学

木下 賢也(工学部 電子情報工学科、京都高校)

電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

吉富 修平(工学部 生命環境化学科、壱岐高校)

表面技術協会 九州支部 優秀学生賞

白水 まどか(工学部 生命環境化学科、福岡西陵高校)

日本金属学会・日本鉄鋼協会 九州支部長賞

田上 真央(工学部 生命環境化学科、三井高校)

日本金属学会・日本鉄鋼協会 九州支部長賞

資源・素材学会 九州支部 平成31年度「Outstanding Student Award, Kyushu MMIJ」

瓜生 俊(工学部 知能機械工学科、城東高校)

日本機械学会 皇山賞

下園 大貴(工学部 電気工学科、樟南高校)

電気学会 九州支部長賞

原 菜月(情報工学部 情報工学科、武蔵台高校)

電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

緒方 カンナ(情報工学部 情報工学科、筑紫中央高校)
 電子情報通信学会 九州支部学生会講演会 学生会講演奨励賞
 井川 晃輔(情報工学部 情報通信工学科、唐津西高校)
 電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞
 原田 敦広(情報工学部 情報システム工学科、小城高校)
 電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞
 長田 侑樹(情報工学部 システムマネジメント学科、新宮高校)
 電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞
 毛利 文俊(情報工学部 システムマネジメント学科、致遠館高校)
 日本経営工学会優秀学生賞
 間々田 夏菜子(社会環境学部 社会環境学科、柏陵高校)
 地理情報システム学会 学術研究発表大会 若手分科会
 奨励賞

■短期大学部

川口 和久(情報メディア学科、名張桔梗丘高校)
 電気学会 九州支部長賞

■卒業時成績優秀者

小野 資治(工学部 電子情報工学科、久留米高校)
 白水 まどか(工学部 生命環境化学科、福岡西陵高校)
 瓜生 俊(工学部 知能機械工学科、城東高校)
 片岡 大和(工学部 電気工学科、延岡工業高校)
 長野 美月(情報工学部 情報工学科、筑前高校)
 井川 晃輔(情報工学部 情報通信工学科、唐津西高校)
 原田 敦広(情報工学部 情報システム工学科、小城高校)
 島崎 早智(情報工学部 システムマネジメント学科、城南高校)
 矢原 正陽(社会環境学部 社会環境学科、中村学園三陽高校)
 郷原 武尊(短期大学部 情報メディア学科、佐世保工業高校)
 足立 菜由(短期大学部 情報メディア学科、春日高校)
 日高 美咲(短期大学部 ビジネス情報学科、福岡特別支援学校)

■団体表彰

吹奏楽団

第34回福岡県吹奏楽コンクール大学の部 金賞
 第63回九州吹奏楽コンクール大学の部 金賞
 第66回全日本吹奏楽コンクール大学の部 銀賞
 第44回九州アンサンブルコンテストクラリネット四重奏 金賞

ラグビー部

第56回元木杯九州セブンズ 準優勝
 ジャパンセブンズ2018Consolation 優勝(全国ベスト9)
 第26回九州学生ラグビーリーグ戦I部 優勝

女子柔道部

第27回九州女子柔道優勝大会(3人制) 優勝
 平成30年度全日本学生柔道女子優勝大会(3人制) ベスト8

硬式野球部

第68回九州地区大学体育大会 第3位

弓道部

第32回福岡県大学弓道選手権大会女子団体 第1位
 第32回福岡県大学弓道選手権大会女子射技 優秀校

タッチラグビー同好会

第3回タグフットボール全国大会オニオン杯 4位
 第3回タグフットボール九州中国大会 準優勝
 第3回タグフットボール九州中国大会 3位

FITポケットラボ(斉藤 大和(情報工学部 情報工学科、福岡舞鶴高校)、多田 信洋(情報工学部 情報工学科、立花高校))
 第7回 サイエンス・インカレ 奨励賞

モノづくりセンター ロボット相撲プロジェクト マーベルバル
 ビゾンファミリー(柴田 亮(工学部 電子情報工学部、城東高校)、
 富永 彩人(情報工学部 情報工学科、城東高校))
 全日本ロボット相撲北海道・東北大会2018全日本の部自立型
 3位

■個人表彰

ヴァカラヒ シオエリ(社会環境学部 社会環境学科、目黒学院
 高校)

ワールドラグビー U20 チャンピオンシップ2018出場(U20
 日本代表)

下條 華蓮(社会環境学部 社会環境学科、城東高校)

第32回九州学生女子柔道体重別選手権大会63Kg級 第3位

田中 美穂(社会環境学部 社会環境学科、秀岳館高校)

第32回九州学生女子柔道体重別選手権大会63Kg級 第3位

樽原 咲桜(社会環境学部 社会環境学科、秀岳館高校)

第32回九州学生女子柔道体重別選手権大会78Kg級 第3位

三澤 大治(工学部 知能機械工学科、真颯館高校)

第5回全九州テコンドーブムセ選手権大会有級高校・一般男子
 の部 準優勝

市川 隆星(工学部 知能機械工学科、東福岡高校)

第5回 3×3日本選手権福岡県予選大会(3人制バスケット
 ボール) 優勝

小川 晃輝(情報工学部 情報工学科、鹿島高校)

平成30年度 九州学生軟式野球連盟 春季大会 最多勝利
 (5勝)

平成30年度 九州学生軟式野球連盟 秋季大会 最多勝利
 (2勝 同率3名)

佐竹 裕介(工学部 電子情報工学科、久留米高校)

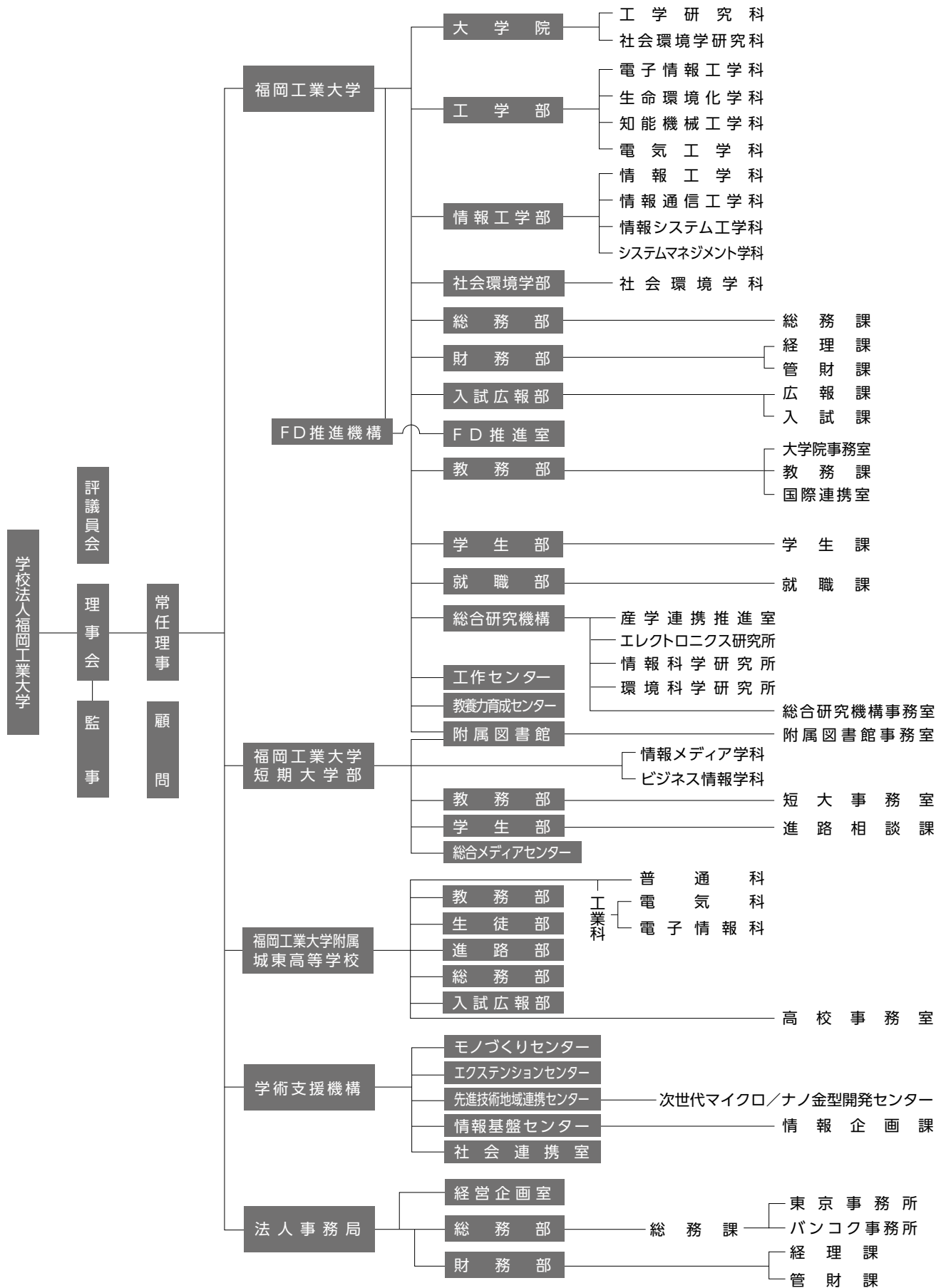
MISUMI presents第33回ROBO-ONE デザイン賞

花田 大空(工学部 知能機械工学科、天草工業高校)

MISUMI presents第33回ROBO-ONE Light 第3位

井上 和総(情報工学部 情報工学科、城東高校)

全日本ロボット相撲九州大会2018全日本の部自立型 第3位



役員等の状況

■役員一覧 (平成31年4月1日現在)

職名	氏名	兼職名
理事(理事長)	鶴木 洋二	
理事(常務理事)	大谷 忠彦	
理事	下村 輝夫	大学、短期大学部学長
理事	佐伯 道彦	附属城東高等学校長
理事	山下 剛	事務局長
理事(理事長補佐)	米田 達郎	
理事(非常勤)	江頭 正成	
理事(非常勤)	川原 孝	
理事(非常勤)	園田 勇	
理事(非常勤)	高田 洋征	
理事(非常勤)	森 紀久雄	
理事(非常勤)	小幡 修	
監事(非常勤)	吉戒 孝	
監事(非常勤)	和志武三樹男	

職名	氏名	兼職名
最高顧問	麻生 渡	

役員区分	定数	実数	選任条項別実数※
理事	9~13	12	1号2名、2号2名、3号8名
監事	2~3	2	
評議員	19~27	25	1号4名、2号3名、3号3名、4号15名

※1号理事：学長・校長、同2号：評議員、同3号：学識経験者
1号評議員：学長・校長、同2号：卒業生、同3号：父母、同4号：学識経験者

■部科長一覧 (平成31年4月1日現在)

職名	氏名
工学部長	村山 理一
情報工学部長	前田 洋
社会環境学部長	藤井 洋次
工学研究科長	徳安 達士
社会環境学研究科長	松藤 賢二郎
教務部長	藤岡 寛之
学生部長	中川 智治
就職部長	中川 智治
附属図書館長	三田 肇
情報基盤センター長	利光 和彦
モノづくりセンター長	河村 良行
エクステンションセンター長	利光 和彦
総合研究機構長	朱 世杰
入試広報部長	宋 宇
教養力育成センター長	土屋 麻衣子

職名	氏名
電子情報工学科長	松木 裕二
生命環境化学科長	呉 行正
知能機械工学科長	廣田 健治
電気工学科長	梶原 寿了
情報工学科長	種田 和正
情報通信工学科長	山元 規靖
情報システム工学科長	森園 哲也
システムマネジメント学科長	田嶋 拓也
社会環境学科長	鄭 雨宗
エレクトロニクス研究所長	田中 秀司
情報科学研究所長	福本 誠
環境科学研究所長	森山 聡之
産学連携推進室長	朱 世杰

教職員数

■教員数 (令和元年5月1日現在)

学校名 学部・学科名	福岡工業大学									福岡工業大学短期大学部					
	工学部			情報工学部			社会環境学部			情報メディア学科			ビジネス情報学科		
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
教授	31	1	32	28	1	29	15	1	16	4	0	4	2	1	3
准教授	15	2	17	16	0	16	4	3	7	4	0	4	1	1	2
講師	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
助教	7	3	10	6	1	7	3	2	5	1	0	1	0	1	1
合計	53	6	59	53	2	55	22	6	28	9	0	9	3	3	6

■職員数 (令和元年5月1日現在)

学校名	福岡工業大学			福岡工業大学短期大学部		
	男	女	計	男	女	計
専任職員	60	13	73	1	2	3
特定・嘱託・契約職員	11	51	62	0	4	4
派遣職員	0	11	11	0	0	0
合計	71	75	146	1	6	7

■年齢区分別 教員数 (令和元年5月1日現在)

学校名 学部・学科名	福岡工業大学									福岡工業大学短期大学部					
	工学部			情報工学部			社会環境学部			情報メディア学科			ビジネス情報学科		
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
29歳以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
30歳~39歳	11	2	13	9	1	10	5	3	8	1	0	1	0	1	1
40歳~49歳	14	4	18	20	0	20	7	3	10	2	0	2	1	0	1
50歳~59歳	19	0	19	18	1	19	6	0	6	4	0	4	1	2	3
60歳~69歳	8	0	8	6	0	6	4	0	4	1	0	1	1	0	1
70歳以上	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	53	6	59	53	2	55	22	6	28	9	0	9	3	3	6

■専任教員・非常勤教員比率 (令和元年5月1日現在)

学校名 学部・学科名	福岡工業大学									福岡工業大学短期大学部					
	工学部			情報工学部			社会環境学部			情報メディア学科			ビジネス情報学科		
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
専任教員	53	6	59	53	2	55	22	6	28	9	0	9	3	3	6
(比率・%)	47.7%	33.3%	45.7%	57.6%	18.2%	53.4%	55.0%	46.2%	52.8%	60.0%	0.0%	52.9%	42.9%	42.9%	42.9%
非常勤教員	58	12	70	39	9	48	18	7	25	6	2	8	4	4	8
(比率・%)	52.3%	66.7%	54.3%	42.4%	81.8%	46.6%	45.0%	53.8%	47.2%	40.0%	100.0%	47.1%	57.1%	57.1%	57.1%
合計	111	18	129	92	11	103	40	13	53	15	2	17	7	7	14
(比率・%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

設置学部・学科/専攻概要

(平成31年4月1日現在)

設置校	学部・研究科名	学科名	設置コース	教育研究上の目的	
大学	工学部	電子情報工学科		現代社会において、科学技術者は、科学技術への貢献はもとより、社会人として自立し、広い視野に立ち柔軟な発想を行えることが求められる。本学科は、電子技術と情報技術が融合した技術分野において、このような要請に応えることができる実践型の人材の養成を目的とする。	
		生命環境科化学科	生命環境化学基礎コース 生命環境化学アドバンスコース	地球の様々な環境問題が深刻化する今日、環境の管理、保全、改善と修復の基本理念を理解し、物理・化学的、及び生物学的アプローチ等の多様な先端技術を用いて、問題を解決する能力を持つ自立した物質系・生物系技術者の人材の養成を目的とする。	
		知能機械工学科		情報技術と生産技術を融合した知能機械が主流となった機械分野において、基礎及び専門技術に関する知識と応用力を身につけるとともに、それらを駆使したデザイン能力とコミュニケーション能力を有し、技術者倫理をもってグローバルな活躍ができる人材の養成を目的とする。	
		電気工学科		日々進歩する電気・電子・情報工学の技術を理解し、習得するための素養と専門知識及び技術を身につけ、国際感覚と倫理観を有するとともに、地域産業のニーズも理解し、地域的また国際的連携の両方を意識して活躍できるグローバルな技術人材の養成を目的とする。	
	情報工学科	情報工学科		コンピュータのソフトウェア・ハードウェアの基礎及び応用を教授研究し、プログラミングに習熟させるとともに、インターネットや人工知能、知能ロボット、自然言語処理、画像処理、データベース、マルチメディア、CG、システムLSIなどの最先端のコンピュータ技術・応用技術を持つ専門的職業人及び教育研究者の人材の養成を目的とする。	
		情報通信工学科		今日の情報通信関連技術は、あらゆる産業分野における基幹技術としての影響力を持つようになり、社会生活の中に深く関係している。このように情報通信工学の裾野が限りなく広がり、技術的な可能性が満ち溢れる世界で、独創性を発揮し、多様化する先端技術を開拓できる技術者及び情報通信関連分野の研究能力を有する人材の養成を目的とする。	
		情報システム工学科		今日まで発展を遂げてきた情報技術が社会的基盤となり、人々の暮らしを支える情報システムのサービス形態は、変化・適用・深化を繰り返しながらこれからも発展し続けていくことが予想される。本学科では、情報技術、ロボット制御、生体システムを柱とする実践的教育を展開し、技術者倫理、コミュニケーション能力、エンジニアリングデザイン能力を身につけることで、社会の持続的発展に不可欠な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者の養成を目的とする。	
		システムマネジメント学科		高度に情報化、国際化が進む現代社会において、企業の生産管理技術と情報管理技術について、経営、生産、メディアの観点から基礎的な素養を身につける教育を行い、それらの知識に裏付けされた人間哲学に基づいてシステムのマネジメントを行える人材の養成を目的とする。	
	社会環境学部	社会環境学科	経営コース 地域コース	環境に関わる諸問題に関して主として社会科学の立場からアプローチし、社会の仕組みを理解した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる実践型の人材の養成を目的とする。	
	大学院	工学研究科	物質生産システム工学専攻 (博士後期課程)		物質生産システム工学専攻は、電子物性工学、機能材料応用工学、エネルギーシステム工学及び設計生産システム工学分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養う。
			知能情報システム工学専攻 (博士後期課程)		知能情報システム工学専攻は、知能情報工学、情報伝送工学、知的メディア工学及び情報制御システム工学分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養う。
			電子情報工学専攻		現代社会は、コンピュータを先頭とした電子情報技術が著しく発達し、広く普及している社会である。本専攻では、広い視野に立って、電子情報工学の理論及び応用を教授、研究し、高度な専門知識を背景に、独創的な研究開発能力を身につけた技術者を養成することを目的とする。
			生命環境化学専攻		本学の建学の綱領に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、科学技術や社会の進歩向上に寄与する人材を育成することを目的とする。具体的には本専攻では、広い視野に立って精深な学識を授け、物質工学及び生物工学を中心とした専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。
知能機械工学専攻				機械工学は、ナノ・マイクロテクノロジーから巨大システムまで基盤となる技術を開拓していく学問分野です。機械工学はそれ自身の高度化、先進化及び微細化とともに電子情報技術の飛躍的な発達により機械の知能化が進んでいます。本専攻では機械工学の基礎分野の知識を十分修得した上で、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。	
電気工学専攻				本専攻は電気系工学・技術の分野において活躍できる、高度の問題解決能力と研究開発能力を備えた技術者を育成することを教育の目的とする。このため工学部電気系学科修了程度の基礎知識を有する学生を対象に、進歩を続ける技術に長期的に対応して行けるよう電気関連主要分野の深い基礎理論を講究するとともに、並行してこの分野の先端的研究テーマについての研究に取り組み創造的対応能力を培う。	
情報工学専攻				人工知能や集積回路、マルチメディアや画像処理、データベースやソフトウェア開発などの情報工学分野で高度な専門知識や技術を修得するとともに、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。	
情報通信工学専攻				携帯電話や無線 LAN、光ファイバ伝送などの情報伝送技術やインターネットなどの情報ネットワークの分野で高度な専門知識や技術を修得するとともに、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。	
情報システム工学専攻				情報システム工学専攻は、少子高齢化社会で求められる様々な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、情報社会の発展に役立つ研究課題を自ら探求して解決する能力を備えた人材の育成を目的とする。	
システムマネジメント専攻				システムマネジメント専攻は、経営、生産、情報メディアシステムに対して調査・分析・設計・評価に必要な工学的な諸手法について教授し、これらのシステムから得られる情報を有効に利用してシステムを構築・解析・最適化する能力を備えた人材の育成を目的とし、教育研究を行う。	
社会環境研究科	社会環境学専攻		環境に関わる諸問題に関して主として社会科学及び人文科学の立場からアプローチし、個人・企業・社会全体の仕組みを研究する能力を醸成した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる高度な専門性が求められる職業を担うための能力を培うことを目的とする。		
短期大学部		情報メディア学科		情報メディア学科は、情報化社会における即戦力となる技術者の養成および大学等に編入学して更に学びを深める人材の養成を目的として、コンピュータや情報メディアに関する実践的な取り扱い方、プログラミング能力などを育成し、さらに情報科学または情報メディアに関する基礎知識に加えて、社会人及び職業人として必要な自然科学および人文科学の教養およびコミュニケーション能力を育成している。	
		ビジネス情報学科		ビジネス情報学科は、人間性・協調性豊かで、進化するIT技術を活用できる人材の養成を目的として、社会人及び職業人として必要な自然科学および人文科学の教養およびコミュニケーション能力を育成し、併せてコンピュータや情報メディアに関する実践的な取り扱い方、プログラミング能力などを育成している。	

資格について ○/所定の単位取得により、在学中または卒業と同時に取得できる資格
 ●/所定の単位取得により、実務経験を経て取得
 ○/指定科目の単位を取得すると、資格試験の一部が免除
 □/全学的に支援・支援講座を行っている資格 (エクステンションセンター主催)
 ■/各学科で支援・支援講座を行っている資格
 ☆/国家資格

教員構成(人)※	取得可能学位	取得可能な教員免許	取得支援を実施している資格※	
教授 10 准教授 1 助教 3	学士 (工学)	高等学校教諭一種免許状(工業)	<ul style="list-style-type: none"> ■/□/☆基本情報技術者試験 ■/☆第一級陸上特殊無線技士 ■/☆第一級陸上無線技術士 ■/☆ITパスポート 	<ul style="list-style-type: none"> ■/□MOS (Microsoft Office Specialist) □TOEIC L&R □Webクリエイター能力認定試験 □日商簿記検定2級・3級 □リテールマーケティング(販売士)検定2級
教授 7 准教授 6		高等学校教諭一種免許状(工業、理科) 中学校教諭一種免許状(理科)	<ul style="list-style-type: none"> ○/☆食品衛生管理者、食品衛生監視員 ○/☆毒物劇物取扱責任者 ■/☆公害防止管理者(水質) ■/☆危険物取扱者(甲・乙) ■/☆環境計量士 	<ul style="list-style-type: none"> ■/☆ITパスポート ■環境測定分析士 ■/☆バイオ技術者認定 ■eco検定(環境社会検定試験) □/☆基本情報技術者試験 □TOEIC L&R □MOS(Microsoft Office Specialist) □Webクリエイター能力認定試験 □日商簿記検定2級・3級 □リテールマーケティング(販売士)検定2級
教授 8 准教授 6 助教 3		高等学校教諭一種免許状(工業)	<ul style="list-style-type: none"> ◎修習技術者(→技術士補) ■/☆機械保全技能検定 ■/☆ITパスポート ■CAD利用技術者 	<ul style="list-style-type: none"> ■機械設計技術者 □/☆基本情報技術者試験 □TOEIC L&R □MOS (Microsoft Office Specialist) □Webクリエイター能力認定試験 □日商簿記検定2級・3級 □リテールマーケティング(販売士)検定2級
教授 6 准教授 4 助教 3		高等学校教諭一種免許状(工業)	<ul style="list-style-type: none"> ●/■/☆電気主任技術者(第1種、第2種、第3種) ■/☆電気工事士 ■/☆ITパスポート □/☆基本情報技術者試験 	<ul style="list-style-type: none"> □TOEIC L&R □MOS(Microsoft Office Specialist) □Webクリエイター能力認定試験 □日商簿記検定2級・3級 □リテールマーケティング(販売士)検定2級
教授 7 准教授 6 講師 1 助教 3	学士 (情報工学)	高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> ■/□/☆基本情報技術者試験 ■/☆ITパスポート ■/☆情報セキュリティマネジメント ■LPIC(Linux技術者認定試験) 	<ul style="list-style-type: none"> ■CCNA(Cisco Certified Network Associate) □TOEIC L&R □MOS(Microsoft Office Specialist) □Webクリエイター能力認定試験 □日商簿記検定2級・3級 □リテールマーケティング(販売士)検定2級
教授 11 准教授 3		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> ○/☆第一級陸上特殊無線技士 ○/☆海上特殊無線技士(第二級、第三級) ○/☆第一級陸上無線技術士 ○/■/☆電気通信主任技術者(伝送交換主任技術者、線路主任技術者) 	<ul style="list-style-type: none"> ○/■/☆工事担当者(ネットワーク接続技術者) ■/□/☆基本情報技術者試験 ■/□/☆情報セキュリティマネジメント ■/☆ITパスポート ■LPIC(Linux技術者認定試験) ■CCNA(Cisco Certified Network Associate) ■ネットワークスペシャリスト □TOEIC L&R □MOS(Microsoft Office Specialist) □Webクリエイター能力認定試験 □日商簿記検定2級・3級 □リテールマーケティング(販売士)検定2級
教授 6 准教授 4 講師 2 助教 2		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> ◎修習技術者(→技術士補) ■/□/☆基本情報技術者試験 ■/☆ITパスポート ■LPIC(Linux技術者認定試験) 	<ul style="list-style-type: none"> ■CCNA(Cisco Certified Network Associate) ■/□MOS(Microsoft Office Specialist) □TOEIC L&R □Webクリエイター能力認定試験 □日商簿記検定2級・3級 □リテールマーケティング(販売士)検定2級
教授 5 准教授 3 助教 2		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> ■/□/☆基本情報技術者試験 ■/☆ITパスポート ■LPIC(Linux技術者認定試験) ■CCNA(Cisco Certified Network Associate) 	<ul style="list-style-type: none"> ■CGクリエイター検定 ■DTPエキスパート □Webクリエイター能力認定試験 ■日商簿記検定2級・3級 □リテールマーケティング(販売士)検定2級
教授 16 准教授 7 助教 5	学士 (社会環境学)	高等学校教諭一種免許状(公民) 中学校教諭一種免許状(社会)	<ul style="list-style-type: none"> ■/☆ITパスポート ■eco検定(環境社会検定試験) ■環境管理士 ■ピオトップ管理士 	<ul style="list-style-type: none"> ■3R・低炭素社会検定 ■/□MOS(Microsoft Office Specialist) ■/□日商簿記検定2級・3級 ■/□リテールマーケティング(販売士)検定2級 □/☆基本情報技術者試験 □TOEIC L&R □Webクリエイター能力認定試験
教授 21 准教授 3	博士 (工学)			
教授 21 准教授 3				
教授 9 准教授 1 助教 2	修士 (工学)	高等学校教諭専修免許状(工業)		
教授 7 准教授 5		高等学校教諭専修免許状(理科) 中学校教諭専修免許状(理科)		
教授 8 准教授 4 助教 3		高等学校教諭専修免許状(工業)		
教授 6 准教授 4 助教 3		高等学校教諭専修免許状(工業)		
教授 6 准教授 5 助教 2		高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(数学)		
教授 11 准教授 3		高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(数学)		
教授 6 准教授 4 講師 1 助教 2		高等学校教諭専修免許状(情報)		
教授 5 准教授 3 助教 2		高等学校教諭専修免許状(情報)		
教授 8 准教授 4 助教 1	修士 (社会環境学)			
教授 4 准教授 4 助教 1	短期大学士 (情報工学)		<ul style="list-style-type: none"> ■/☆基本情報技術者試験 ■/☆応用情報技術者試験 ■/☆ITパスポート ■秘書技能検定 ■日商PC検定 ■建築CAD検定 ■CAD利用者技術者試験 	
教授 3 准教授 2 助教 1			<ul style="list-style-type: none"> ■TOEIC ■実用英語技能検定 ■色彩検定 ■診療報酬請求事務能力認定試験 ■CGエンジニア検定 ■マルチメディア検定 ■日本漢字能力検定 ■日商簿記検定 ■全国経理教育協会簿記検定 ■福祉住環境コーディネータ ■CGクリエイター検定 ■Webデザイナー検定 ■リテールマーケティング検定2級 	

大学の主要な取組成果

フアンリシティ・各設置校の状況

学校改革の具体的な取組状況

バックデータ集

平成30年度学位授与数

■学士・短期大学士授与数

学部等名	授与数
工学部	368
情報工学部	412
社会環境学部	188
短期大学部	159

■博士・修士授与数

研究科名	修士授与数	博士授与数
工学研究科	51	5
社会環境学研究科	4	-

■JABEEコース修了者数

コース名	修了者数
知能機械創成コース (知能機械工学科)	77
情報システム技術コース (情報システム工学科)	13

学生数

■大学・短期大学部在籍学生数 (各年5月1日現在)

学部	学科	平成30年度						令和元年度		
		定員	現員	定員充足率	留年者数	退学・除籍者数	中退率	定員	現員	定員充足率
工学部	電子情報工学科	360	444	1.23	58	15	3.4%	360	449	1.25
	生命環境化学科	360	401	1.11	33	14	3.5%	360	416	1.16
	知能機械工学科	440	510	1.16	44	21	4.1%	440	496	1.13
	電気工学科	360	399	1.11	54	29	7.3%	360	383	1.06
	合計	1,520	1,754	1.15	189	79	4.5%	1,520	1,744	1.15
情報工学部	情報工学科	520	600	1.15	24	12	2.0%	520	612	1.18
	情報通信工学科	360	415	1.15	36	21	5.1%	360	390	1.08
	情報システム工学科	360	457	1.27	33	26	5.7%	360	424	1.18
	システムマネジメント学科	260	309	1.19	19	11	3.6%	260	300	1.15
	合計	1,500	1,781	1.19	112	70	3.9%	1,500	1,726	1.15
社会環境学部	社会環境学科	700	758	1.08	36	22	2.9%	700	750	1.07
大学院	工学研究科(修士)	128	111	0.87	0	1	0.9%	128	128	1.00
	工学研究科(博士)	12	11	0.92	0	1	9.1%	12	14	1.17
	社会環境学研究科	12	17	1.42	0	1	5.9%	12	9	0.75
	合計	152	139	0.91	0	3	2.2%	152	151	0.99
福岡工業大学・大学院合計		3,872	4,432	1.14	337	174	3.9%	3,872	4,371	1.13
短期大学部	情報メディア学科	210	263	1.25	27	11	4.2%	210	265	1.26
	ビジネス情報学科	110	126	1.15	6	5	4.0%	110	128	1.16
福岡工業大学短期大学部合計		320	389	1.22	33	16	4.1%	320	393	1.23

■高等学校在籍生徒数 (各年5月1日現在)

課程	平成30年度			令和元年度		
	定員	現員	定員充足率	定員	現員	定員充足率
普通科	1,050	1,472	1.40	1,050	1,366	1.30
電気科・電子情報科	600	610	1.02	600	612	1.02
福岡工業大学附属城東高等学校合計	1,650	2,082	1.26	1,650	1,978	1.20

■国別留学生数 (令和元年5月1日現在)

	中国	タイ	韓国	ベトナム	トンガ	アルバニア	ネパール	マレーシア
大学	10	1	1	3	2	0	0	0
短期大学部	0	0	2	1	0	0	0	1
大学院	33	16	1	0	0	2	0	0
研究生	0	0	0	0	0	0	0	0
科目等履修生	1	3	3	0	0	0	0	0
合計	44	20	7	4	2	2	0	1

令和元年度入試状況

■大学

学部	学科	定員	スペシャルスキル			推薦※1			一般(3教科型)※2			一般(センター試験利用)※3			留学生			合計		
			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
工学部	電子情報工学科	90	0	0	0	58	46	42	213	127	45	919	332	24	1	0	0	1,191	505	111
	生命環境化学科	90	1	1	1	62	46	30	254	149	45	719	306	32	1	1	0	1,037	503	108
	知能機械工学科	110	0	0	0	84	59	54	380	154	37	872	287	26	4	1	0	1,340	501	117
	電気工学科	90	2	2	2	81	59	54	271	143	37	804	285	8	2	2	1	1,160	491	102
	学部合計	380	3	3	3	285	210	180	1,118	573	164	3,314	1,210	90	8	4	1	4,728	2,000	438
情報工学部	情報工学科	130	2	2	2	151	87	82	467	143	42	1,069	188	17	6	1	1	1,695	421	144
	情報通信工学科	90	0	0	0	70	51	50	159	68	30	843	284	19	1	1	0	1,073	404	99
	情報システム工学科	90	1	1	1	67	48	47	352	104	36	1,017	209	9	1	1	1	1,438	363	94
	システムマネジメント学科	65	1	1	1	52	39	38	92	38	12	760	282	22	0	0	0	905	360	73
	学部合計	375	4	4	4	340	225	217	1,070	353	120	3,689	963	67	8	3	2	5,111	1,548	410
社会環境学部	社会環境学科	160	37	37	37	97	83	79	185	85	55	714	158	26	2	0	0	1,035	363	197
合計		915	44	44	44	722	518	476	2,373	1,011	339	7,717	2,331	183	18	7	3	10,874	3,911	1,045

※1 専願制(前期・後期)、公募制入試の合計 ※2 追加募集分を含む ※3 前期、中期、後期及びそれらの追加募集分の合計。社会環境学部はセンター併願型入試を含む。

■大学(編入学)

学部	学科	定員※	志願者	合格者	入学者
工学部	電子情報工学科	-	1	1	1
	生命環境化学科	-	0	0	0
	知能機械工学科	-	0	0	0
	電気工学科	-	2	2	2
学部合計		-	3	3	3
情報工学部	情報工学科	-	16	9	9
	情報通信工学科	-	1	1	1
	情報システム工学科	-	3	2	2
	システムマネジメント学科	-	8	4	4
学部合計		-	28	16	16
社会環境学部	社会環境学科	60	13	8	8
合計		-	44	27	27

※工学部、情報工学部の定員は「若干名」

■大学院

研究科	専攻	定員	一般※1			協定校※2			外国人※3			合計		
			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
工学研究科	電子情報工学専攻	8	8	7	5	3	3	2	0	0	0	11	10	7
	生命環境科学専攻	8	10	10	5	1	1	1	1	1	1	12	12	7
	知能機械工学専攻	8	12	12	12	3	3	3	0	0	0	15	15	15
	電気工学専攻	8	4	4	4	2	2	2	0	0	0	6	6	6
	情報工学専攻	10	4	4	4	1	1	1	0	0	0	5	5	5
	情報通信工学専攻	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	8	8	8
	情報システム工学専攻	8	19	15	15	0	0	0	0	0	0	19	15	15
	システムマネジメント専攻	6	1	1	1	3	3	3	0	0	0	4	4	4
工学研究科合計		64	66	61	54	13	13	12	1	1	1	80	75	67
社会環境学研究科	社会環境学専攻	6	1	1	1	0	0	0	2	2	2	3	3	3
修士課程合計		70	67	62	55	13	13	12	3	3	3	83	78	70
工学研究科(博士後期課程)	物質生産システム工学専攻	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
	知能情報システム工学専攻	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1
博士後期課程合計		4	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	2	2

※1 推薦入試、一次・二次入試の合計 ※2 キングモンクット工科大学(タイ)、南京理工大学(中国)、青島科技大学(中国) ※3 一次・二次入試の合計

■短期大学部

学科	定員	推薦※1			自己推薦			一般※2			一般(センター試験利用)※3			留学生			合計		
		志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
情報メディア学科	105	72	72	68	27	11	11	201	65	35	140	17	5	4	1	1	444	166	120
ビジネス情報学科	55	26	26	22	9	7	7	53	46	22	112	46	11	2	1	1	202	126	63
合計		160	98	98	90	36	18	18	254	111	57	252	63	16	6	2	646	292	183

※1 専願制、公募制推薦入試の合計 ※2 一期、二期入試の合計 ※3 前期・後期入試の合計

平成30年度進路状況 平成31年3月卒業生

■大学

学部名	学科名	卒業生数 ※1	就職希望者数	就職内定者数	大学院進学者数	就職率 ※2	実就職率 ※3
工学部	電子情報	89	83	83	5	100.0%	98.8%
	生命環境	79	70	69	6	98.6%	94.5%
	知能機械	109	95	95	13	100.0%	99.0%
	電気	91	87	87	4	100.0%	100.0%
	学部合計	368	335	334	28	99.7%	98.2%
情報工学部	情報	130	119	119	5	100.0%	95.2%
	情報通信	105	92	92	8	100.0%	94.8%
	情報システム	103	82	82	17	100.0%	95.3%
	システムマネジメント	74	67	67	2	100.0%	93.1%
	学部合計	412	360	360	32	100.0%	94.7%
社会環境学部	社会環境	188	170	169	1	99.4%	90.4%
大学合計		968	865	863	61	99.8%	95.1%

※1 前期卒業者を除く ※2 就職率=就職内定者数/就職希望者数 ※3 実就職率=就職内定者数/(卒業生数-大学院進学者数)

■大学院修士課程

専攻名	修了者数	就職希望者数	就職内定者数	進学者数	就職率	実就職率
電子情報	6	6	6	0	100.0%	100.0%
生命環境	5	5	5	0	100.0%	100.0%
知能機械	8	8	8	0	100.0%	100.0%
電気	5	4	4	1	100.0%	100.0%
情報	4	4	4	0	100.0%	100.0%
情報通信	7	7	7	0	100.0%	100.0%
情報システム	4	4	4	0	100.0%	100.0%
システムマネジメント	4	3	3	1	100.0%	100.0%
社会環境	3	3	3	0	100.0%	100.0%
合計	46	44	44	2	100.0%	100.0%

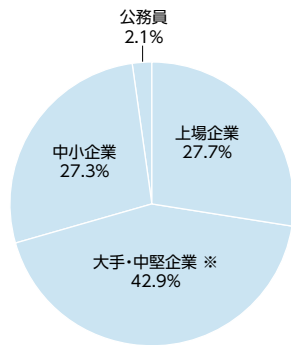
※前期卒業者を除く

■短期大学部

学科名	卒業生数	就職希望者数	就職内定者数	進学者数	就職率	実就職率
情報メディア	104	41	41	47	100.0%	71.9%
ビジネス情報	55	33	33	16	100.0%	84.6%
短大合計	159	74	74	63	100.0%	77.1%

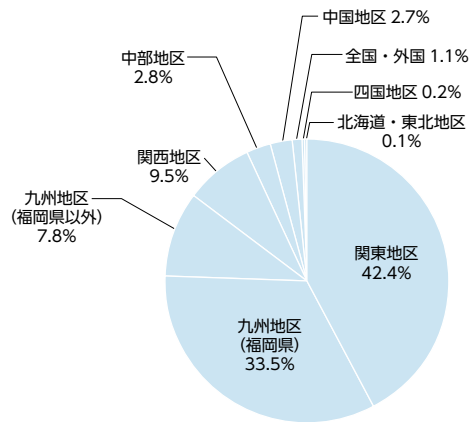
主要就職先 平成31年3月卒業生

■大学・企業規模別



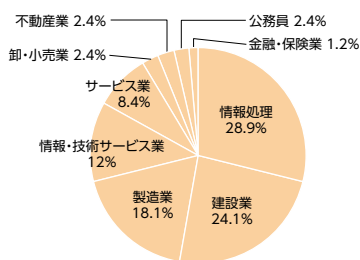
※ 大手・中堅企業は、資本金3億円以上または従業員数300名以上

■大学・地区別



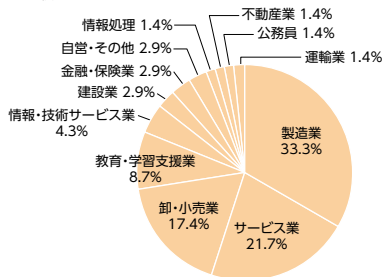
電子情報工学科

㈱日電工/㈱日本ハウスホールディングス/㈱ケーヒン/ NEC ネットエスアイ/ NSWテクノサービス/㈱OKIソフトウェア/保険の窓口グループ/㈱日立ビルシステム/㈱テクノプロテクノプロ・デザイン社/富士ソフト/アイ・ティ・エックス/㈱アルプス技研/㈱村上開明堂/三菱自動車エンジニアリング/パナソニックデバイスシステムテクノ/㈱あきんでん/㈱中電工/㈱マツダE&T/㈱九電工/西日本高速道路エンジニアリング九州/㈱岡野バルブ製造/応研/日米電子/福岡県警察/㈱ミヨタ/小糸九州/長崎キャノン/㈱ジャパンセミコンダクター大分事業所 など



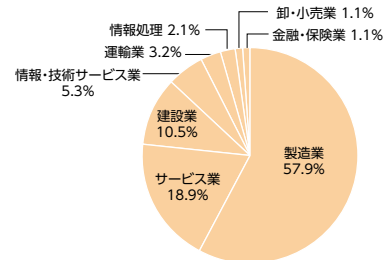
生命環境化学科

㈱ムトウ/日鉄住金防蝕/厚木プラスチック/ジェイオーコスメティックス/山九/㈱トラスト・テック/ WDB ㈱工ウレカ社/プライムテリカ/日本空調サービス/岡藤商事/非破壊検査/テルモ山口/ニシヒ醤油/吉川工業/豊前東芝エレクトロニクス/㈱三井ハイテック/ローム・アポロ/㈱キシャ/㈱九州フジパン/トヨタカラー福岡/㈱ビエトロ/福岡銀行/福岡県立学校教員(中学)/㈱CRC食品環境衛生研究所/福岡建材/新日本非破壊検査/朝倉市役所/㈱友樹飲料/㈱たらみ/鹿児島実業高等学校 など



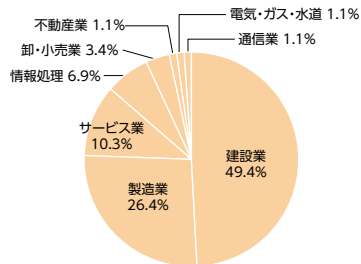
知能機械工学科

㈱ホンダテクノフォート/三菱電機プラントエンジニアリング/独立行政法人国立印刷局/㈱資生堂/㈱鶴見製作所/東プレ/㈱荏原製作所/㈱LIXIL/㈱ISTソフトウェア/㈱日立ビルシステム/三菱電機ビルテクノサービス/㈱日産オートモーティブテクノロジー/スズキ/デンソーテクノ/三菱自動車エンジニアリング/第一精工/京セラ/㈱名村造船所/西日本旅客鉄道/フジッコ/旭興産/千代田計装/山崎プラント/濱田重工/不二精機/計測検査/長崎キャノン/㈱SYSKEN/㈱大分銀行/ヴィアモンベトル など



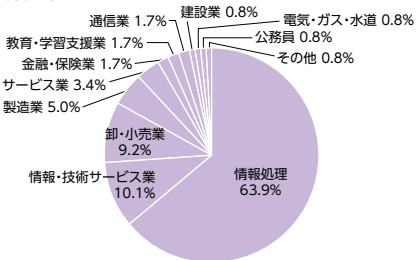
電気工学科

㈱協和エクスオ/日本電設工業㈱/新生テクノ㈱/三菱電機プラントエンジニアリング㈱/旭化成㈱/㈱東芝/㈱ケービー/日本アイ・ピー・エム㈱/リコージャパン㈱/エス・イー・シーエペーター㈱/東芝プラントシステム㈱/パナソニックITS㈱/第一精工㈱/住友電設㈱/浅海電気㈱/共栄製鋼㈱/パナソニックエンジニアリングテクノ/サービス㈱/㈱中電工/㈱九電工/西日本プラント工業㈱/西日本高速道路エンジニアリング九州㈱/㈱中島田鉄工所/末松九機㈱/九州電力㈱/㈱九州日立システムズ/㈱ティエス・エヌ/放送会館/粕屋農業協同組合/㈱デンケン/㈱ホンダロッド/㈱ニシムタ など



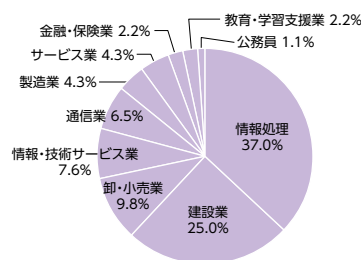
情報工学科

NECネットエスアイ㈱/㈱NSD/㈱システム/ニホンシステムウェア㈱/㈱ソフト開発/富士通エフ・アイ・ピー・DC㈱/MXモバイル㈱/富士通㈱/富士ソフト㈱/デル㈱/大和ハウス工業㈱/天江鋼球製作所/タカラスタータード㈱/㈱NTTフィードバック/パナソニックHRパートナーズ㈱/NTTデータ中国㈱/㈱日立ソリューションズ西日本/森永乳業九州㈱/ニシム電子工業㈱/西部ガス設備工業㈱/九州NSソリューションズ㈱/九電ビジネスソリューションズ㈱/㈱サンレイズ/西鉄情報システム㈱/㈱キヤ/日産部品九州販売㈱/㈱ホンダパーツ西南/㈱福岡銀行/㈱ラック(RITZS)/福岡県警察 など



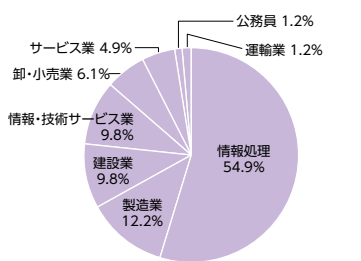
情報通信工学科

㈱協和エクスオ/三和コムシステムエンジニアリング㈱/日本コムシス㈱/㈱ミラテック/ロジック/東邦電気工業㈱/ニッポン/㈱ラック/GMOインターネット/㈱ISIDインターテック/ロジック/CTCテクノロジ/セントラルソフト/三菱電機システムサービス㈱/㈱日本トータルシステム/浅海電気㈱/西日本電信電話(NTT)/TAGUTHグループ/新川電機㈱/航空自衛隊/㈱キューキョ/㈱サン電工社/九電ビジネスソリューションズ㈱/㈱富士通九州システムズ/アプライド/㈱九州三菱自動車販売㈱/北九州市立中学校/西日本映像㈱/㈱佐賀電算センター/㈱オーイーシー/㈱宮崎太陽銀行/㈱リウコム など



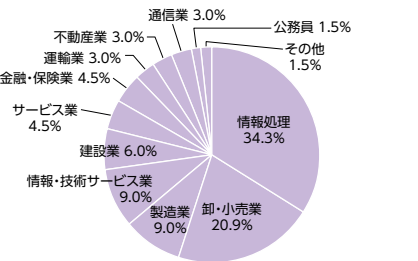
情報システム工学科

タマホーム㈱/フクダ電子㈱/三和シャッター工業㈱/㈱ジャステック/日本システムウェア/医療システムズ㈱/日本デクニカルシステム㈱/日本自動化開発㈱/富士電機ITソリューション/富士ソフト/ネットフォース/野里電気工業/西日本旅客鉄道/カワサキロボトサービス/安川情報システム/SCSK九州/九電ビジネスソリューションズ/㈱サンレイズ/㈱シティアスコム/西日本コンピュータ/西鉄エム・テック/九州三菱自動車販売/新日本非破壊検査/㈱ワールドインテック/田中鉄工/長崎船舶装備/長崎キヤノン/大村市役所/㈱九州ソフタス/㈱デンケン など



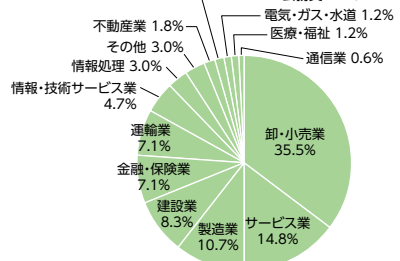
システムマネジメント学科

㈱東芝/㈱マースエンジニアリング/㈱SIG/アセンテック/㈱DTS/㈱Minorソリューションズ/スターティア/日本郵便/明治安田生命保険相互会社/富士通エフ・アイ・ピー・システムズ/㈱アドヴァンスト・インフォメーションデザイン/ネットフォース/㈱京都アニメーション/不二塾学工業/㈱大創産業/㈱山口フィナンシャルグループ/㈱オリエンタル・ホーム/三友ボディー/㈱関家具/㈱ソフトサービス/㈱西日本新聞広告社/㈱博運社/トヨタ部品福岡共販/㈱ナフコトヨタカローラ博多/日産プリンス福岡販売/㈱三好不動産/㈱サンクニク九州/警察庁九州管区警察局/㈱日本ビズネスソフト など



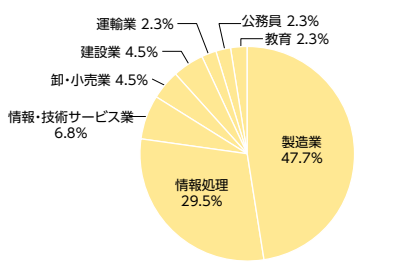
社会環境学科

タマホーム/㈱伊藤園/ココ・コーポラズジャパン/久光製薬/タキゲン製造/サクサ/山九/ANAエアポートサービス/第一生命保険/総合警備保障/財団連日本モーターポート総走会/野中製粉/フジパングループ本社/大和ハウス工業/大谷塗料/ライオン電機/㈱イズミ/山口県信用組合/徳島県警察本部/太陽製粉/㈱マツモト/九州リオン/西部ガス/ANA福岡空港/トヨタ九州販売/九州三菱自動車販売/FFG証券/医療法人社団高邦会高木病院/宗像市役所/長崎自動車/宮崎ガス/㈱鹿児島銀行 など



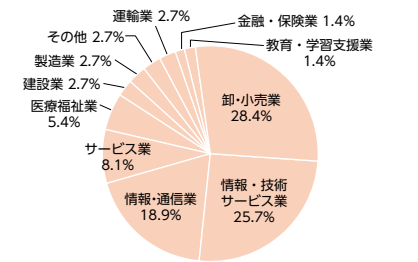
大学院

㈱リクルート/大崎電気工業/日本ケミコン/日本無線/クアーズテック/曙ブルーキ工業/アセンテック/㈱NSD/㈱ジャステック/㈱ディー・エヌ・イー/東芝システムテクノロジ/㈱富士通エフ・アイ・ピー/東芝通ビエス・シー/㈱トラステック/㈱三協協イオス/富士通/富士ソフト/日本電産/京セラ/野里電気工業/アイコム/シャープ/東ソー物流/㈱三井ハイテック/㈱トヨタロダクションエンジニアリング/福岡コンピュータサービス/福岡県立学校教員(高校)/警察庁九州管区警察局/ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング/インフラテック/電装(中国)投資有限公司 など



短期大学部

㈱リンク・セオリー・ジャパン/㈱ISIDインターテクノロジー/㈱エム・アンド・アイ/兼松コミュニケーションズ/㈱ジャパンテックニカルソフトウェア/日本デクニカルシステム/㈱MXモバイル/㈱ヨドバシカメラ/日本スナック/㈱マイスターエンジニアリング/㈱メイテック/㈱フジフィルタ/コムシス/浅海電気/ナビオコンピュータ/イオンテック/㈱イズミテクノ/山口日産自動車/美弥市立美東病院/㈱松屋製作所/安川情報システム/福岡コンピュータサービス/西鉄運輸/リックス/㈱コムス製品/ネットヨタ北九州/福岡ダイハツ販売/福岡中央銀行/医療法人福和会/㈱大和総業/㈱M.C.A など



主要進学先 平成31年3月卒業生

■大学院

- 秋田大学大学院理工学研究科博士後期課程
- 筑波大学大学院システム情報工学研究科博士後期課程

■大学

- 福岡工業大学大学院修士課程
- 福岡教育大学大学院
- 九州大学大学院修士課程
- 東京工科大学大学院博士前期(修士)課程
- 福岡国際医療福祉大学言語聴覚専攻科

■短期大学部

- 福岡工業大学工学部
- 福岡工業大学情報工学部
- 福岡工業大学社会環境学部
- 佐賀大学理工学部
- 九州工業大学情報工学部
- 豊橋技術科学大学工学部
- 香川大学工学部
- 下関市立大学経済学部
- 久留米工業大学工学部
- 中村学園大学流通科学部
- 神戸芸術工科大学芸術工学部
- 福岡女学院大学人文学部

- 福岡女学院大学国際キャリア学部
- 九州産業大学理工学部
- 九州産業大学経営学部
- 九州産業大学商学部第一部
- 九州産業大学芸術学部
- 西日本工業大学デザイン学部
- 横浜美術大学美術学部
- 帝京大学経済学部
- 大阪電気通信大学総合情報学部
- 九州情報大学経営情報学部

研究活動

■外部研究資金の取得実績推移

(単位:千円)

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
共同研究	金額	14,219	6,375	11,083	10,507	10,355	37,472	18,403	26,517
	件数	14	11	15	14	18	19	21	21
受託研究	金額	16,116	6,535	13,113	8,781	14,625	18,106	42,203	35,650
	件数	8	6	9	6	11	13	13	7
奨学寄付金	金額	3,500	5,133	500	7,949	18,635	14,426	17,200	11,222
	件数	5	5	1	9	20	16	15	10
科学研究費補助金	金額	43,030	60,970	53,690	71,310	74,360	92,820	79,820	90,220
	件数	29	40	39	41	48	53	60	63
その他外部助成金	金額	1,566	5,439	23,570	653	540	0	1,620	0
	件数	2	5	10	4	1	0	2	0
合計	金額	78,431	84,452	101,956	99,200	118,515	162,824	159,246	163,609
	件数	58	67	74	74	98	101	111	101

教育関係補助金の交付状況

■私立大学等経常費補助金の交付実績推移

(単位:千円)

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
一般補助	350,247	531,328	457,753	520,271	551,908	445,929	532,698	533,344	569,140
特別補助	382,202	99,322	94,815	96,906	137,690	168,196	160,145	241,195	232,182
合計	732,449	630,650	552,568	617,177	689,598	614,125	692,843	774,539	801,322

■平成30年度文部科学省補助金交付実績

(単位:千円)

文科省補助区分	事業名	交付額
大学教育再生加速プログラム	テーマI[アクティブ・ラーニング]	12,060
私立学校施設整備費補助金	電子プローブマイクロアナライザー(EPMA)システム	33,445
合計		45,505

国際交流

■国際交流協定校一覧

国名	大学名	締結年	協定内容						平成30年度交流学生数	
			教育研究活動交流	共同研究	学生交流	教育・研究者交流	事務職員交流	留学生募集	本学からの派遣	協定校学生の受入
米国	フットヒルカレッジ	1992	○	-	○	○	-	-	-	-
	オレゴン州立大学工学部	2002	○	○	○	○	○	-	-	-
	カリフォルニア州立大学イーストベイ校	2003	-	-	○	-	-	-	-	-
	サンノゼ州立大学	2015	○	-	○	○	-	-	-	-
	セントメアリーズカレッジカリフォルニア	2018	○	○	○	○	-	-	-	-
韓国	慶星大学校	1981	-	-	○	-	-	-	4	9
	亜洲大学校	1990	○	○	○	○	○	-	-	-
	啓明大学校工学部	2009	○	○	○	○	-	-	-	1
中国	大連理工大学	1988	-	-	-	-	-	○	-	6
	南京理工大学	1993	-	-	○	-	-	○	9	6
	青島科技大学	2008	-	-	○	-	-	○	-	7
	北華大学	2007	○	○	○	○	-	-	-	-
台湾	国立高雄科技大学	2017	○	○	○	○	○	-	-	-
タイ	キングモンクット工科大学	2008	○	○	○	○	○	○	6	64
	チュロンコンン大学理学部	2009	○	○	○	○	○	-	-	-
	泰日工科大学	2017	○	○	○	○	○	-	-	-
豪州	フェデレーション大学	2001	○	○	○	○	-	-	-	-
アルバニア	ティラナ工科大学	2009	○	○	○	○	○	-	-	-
イタリア	ナポリ・フェデリコ2世大学	2018	○	○	○	○	○	-	-	-

平成30年度資格取得実績

■教員免許取得者数

免許種類	科目	取得者数
高校一種	数学	14
	理科	8
	工業	1
	情報	3
	公民	5

免許種類	科目	取得者数
中学校一種	数学	9
	理科	7
	社会	1

■資格取得実績・大学

資格名称	合格者数
Microsoft Office Specialist Word	192
Microsoft Office Specialist Excel	206
IT パスポート	31
基本情報技術者試験 (FE) 午前科目試験免除終了試験	18
基本情報技術者試験 (FE)	28
応用情報技術者試験 (AP)	3
情報セキュリティマネジメント試験 (SG)	5
CG クリエイター検定ベーシック	1
Web クリエイター能力認定試験上級	10
CCENT	1
LinuC レベル 1	1
実用英語技能検定 2 級	2
日商簿記検定 2 級	1
日商簿記検定 3 級	20
秘書検定 2 級	9
秘書検定 3 級	11
リテールマーケティング(販売士) 2 級	11
医科医療事務検定 2 級	1
第一級陸上無線技術士	13
第一級陸上無線技術士(科目合格)	1

資格名称	合格者数
第一級陸上特殊無線技術士	26
第三級海上特殊無線技術士	35
危険物取扱者(甲)	1
危険物取扱者(乙)	5
第二種電気主任技術者一次試験合格	2
第二種電気主任技術者	1
第三種電気主任技術者	2
第三種電気主任技術者(科目合格)	6
2次元 CAD 利用技術者試験 2 級	11
機械保全技能検定 2 級	1
機械保全技能検定 3 級	3
工事担任者(AI・DD 総合種)	1
バイオ技術者認定試験中級	9
公害防止管理者(科目合格)	3
環境測定分析士 3 級	1

■資格取得実績・短期大学部

資格名称	合格者数
Microsoft Office Specialist Word	2
Microsoft Office Specialist Excel	2
IT パスポート	6
基本情報技術者試験 (FE)	2
CG エンジニア検定ベーシック	5
CG クリエイター検定ベーシック	1
マルチメディアベーシック	6
日商簿記検定 3 級	23
秘書検定 2 級	3
秘書検定 3 級	7
医科医療事務検定 3 級	17
簿記能力検定 3 級	10
簿記能力検定基礎(4 級)	40
日商 PC 検定(文書作成)3 級	9
日商 PC 検定(文書作成)Basic	31
日商 PC 検定(データ活用)3 級	3
日商 PC 検定(データ活用)Basic	1
日商 PC 検定(プレゼン作成)3 級	1

課外活動

■平成30年度クラブ・サークル加入者数

クラブ・サークル名	部員数	クラブ・サークル名	部員数	クラブ・サークル名	部員数
硬式野球部(強化部)	121	陸上競技部	14	音響部	27
女子柔道部(強化部)	10	アクションサッカー同好会	54	環境サークルオアシス部	34
ラグビー部(強化部)	76	硬式テニス同好会	62	写真部	57
アーチェリー部	15	サッカー同好会(フランケンFC)	27	情報技術研究部	54
合気道部	12	サバイバルスポーツ同好会	42	フォークソング研究部	47
アイスホッケー部	27	男子柔道同好会	7	モダンアート部	27
弓道部	31	相撲同好会	11	ロック部	28
剣道部	9	ダンス同好会	46	茶道部	18
硬式テニス部(硬式庭球部)	8	マラソン同好会(旧トライアスロン同好会)	11	アカペラ同好会	32
サッカー部	24	軟式野球同好会	47	サブカルチャー同好会	12
自動車工学研究部	8	バスケットボール同好会(PRESS)	92	国際交流サークル(FIT-ICE)同好会	73
準硬式野球部	35	パワーリフティング同好会	20	料理・スイーツ研究同好会	25
水泳競技部	36	ハンドボール同好会	26	競技麻雀同好会	25
ソフトテニス部	42	フットサル同好会(ファンタジア)	42	福工大アンブレラグド愛好会(アコギ)	35
ソフトボール部	20	タッチラグビー同好会	23	模型愛好会	13
卓球部	16	シーズンスポーツ愛好会	83	人工知能開発研究愛好会	7
テコンドー部	32	少林寺拳法同好会	15		
バスケットボール部	53	吹奏楽団(強化部)	60		
バドミントン部	40	All Round Music部	50		
バレーボール部	29	音楽研究部	77		

加入者総計1,967名

■平成30年度モノづくりセンタープロジェクトメンバー数

プロジェクト名	メンバー数
ソーラーカー	15
ロボコン	24
ロボット相撲	10
手作りアクセサリ	23
二足歩行ロボット	20
公募(車両整備活動)	13
公募(IoT受信アンテナ)	7
計	112

令和元年度学費・徴収金

■大学院

(単位:円)

研究科	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学災保険料※	合計
工学研究科 (修士課程)	1年次	150,000	560,000	170,000	62,000	20,000	-	1,750	963,750
	2年次以降	-	560,000	170,000	62,000	20,000	-	-	812,000
工学研究科 (博士後期課程)	1年次	150,000	560,000	170,000	62,000	20,000	-	2,600	964,600
	2年次以降	-	560,000	170,000	62,000	20,000	-	-	812,000
社会環境学研究科	1年次	150,000	490,000	120,000	-	20,000	-	1,750	781,750
	2年次以降	-	490,000	120,000	-	20,000	-	-	630,000

※秋季入学生の学生教育研究災害傷害保険料：修士課程2,600円、博士後期課程3,300円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

■大学

(単位:円)

学部	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
工学部・情報工学部	1年次	200,000	830,000	270,000	88,000	10,000	19,000	61,300	1,478,300
	2年次以降	-	830,000	270,000	88,000	10,000	19,000	-	1,217,000
社会環境学部	1年次	200,000	670,000	170,000	-	10,000	19,000	61,300	1,130,300
	2年次以降	-	670,000	170,000	-	10,000	19,000	-	869,000

※学生諸費の内訳：学生自治会費28,000円、教育後援会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料3,300円、アルバム代10,000円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

■短期大学部

(単位:円)

学科	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
情報メディア学科	1年次	170,000	590,000	160,000	98,000	5,000	15,000	27,750	1,065,750
	2年次以降	-	590,000	160,000	98,000	5,000	15,000	-	868,000
ビジネス情報学科	1年次	170,000	590,000	160,000	98,000	5,000	15,000	27,750	1,065,750
	2年次以降	-	590,000	160,000	98,000	5,000	15,000	-	868,000

※学生諸費の内訳：学友会費10,000円、教育後援会費6,000円、学生教育研究災害傷害保険料1,750円、アルバム代10,000円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

■高校

(単位:円)

課程	学年	入学申込金	施設設備費	授業料	施設維持費	実習費	図書費	教育充実費	諸費・積立金※	合計
普通科	1年次	40,000	190,000	300,000	78,000	-	3,600	48,000	120,000	779,600
	2年次以降	-	-	300,000	78,000	-	3,600	48,000	120,000	549,600
電気科・電子情報科	1年次	40,000	190,000	300,000	78,000	12,000	3,600	48,000	120,000	791,600
	2年次以降	-	-	300,000	78,000	12,000	3,600	48,000	120,000	561,600

※諸会費・積立金の内訳：生徒会費18,000円、同窓会費1,200円、PTA会費16,800円、積立金84,000円

積立金は、1年次4月～2年次11月は修学旅行積立金として、2年次12月～2年次3月は卒業積立金として徴収。3年次は徴収しない。

その他の費用 PTA入会費：10,000円(入学年度のみ)、学年予納金：普通科44,800円、電気科・電子情報科47,400円(各年度)

部分は12か月分納 教科書代が別途必要

卒業・修了生累計、同窓会員数

■卒業・修了生累計

54,276名 (平成31年3月31日現在)

学部 40,954名
大学院 1,477名
修士 1,418名
課程博士 55名
論文博士 4名

短期大学部 11,845名

■地域別同窓会会員数

(平成31年2月28日現在)

地域名	会員数	地域名	会員数
北海道・東北	10名	中国	3,017名
関東	862名	四国	1,162名
東海	320名	福岡県	14,414名
関西・北陸	710名	九州・沖縄(福岡県を除く)	7,692名
		合計	28,187名

附属施設

■図書館蔵書数 (令和元年5月1日現在) (単位:冊)

図書区分	蔵書数
和書	251,730
洋書	67,800
学術雑誌	278
AV資料	774
合計	320,582

■情報基盤センター利用者数推移 (単位:人)

H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
33,783	33,202	31,878	33,614	33,044	34,371	35,390	34,475

■図書館利用者数推移 (単位:人)

利用者区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
学内利用者	40,480	39,899	39,632	41,206	70,846	137,662	164,170	167,311
学外利用者	5,719	2,979	6,118	12,191	29,531	34,007	27,701	28,732
合計	46,199	42,878	45,750	53,397	100,377	171,669	191,871	196,043

■平成30年度エクステンションセンター受講者数

講座名	講座数	受講者数
資格取得支援講座	43	695
文化教養講座	187	1,546
FIT講座	6	631
合計	236	2,872

■平成30年度モノづくりセンター利用者数

講座名	利用者数
学生プロジェクト	5,620
研究利用	672
一般利用	2,813
合計	9,105

校地・校舎

■校地・校舎概要 (学園全体の校地面積: 233,478㎡、同校舎面積: 129,172㎡)

建物名	主な設備、用途	面積(㎡)*	建築年
A棟	クリーンルーム、学生ホール、ラーニングコーナー、売店、講義室27、演習室14、実験室16、研究室79、卒研室34	18,040	平成13年
B棟	情報基盤センター、レストラン、コンビニ、保健室、カウンセリング室、講義室19、演習室11、実験室11、研究室44、卒研室22、インキュベーションスタジオ1	18,842	平成16年
C棟	地下ホール(収容人数300人)、学生ホール、レストラン、売店、書店、講義室8、実験室6、研究室27、卒研室23	10,303	平成3年
D棟	工作センター、講義室13、実験室11、研究室25、卒研室23	8,504	平成16年
E棟	学生サポートセンター、フレッシュマンスクール、アクティブラーニングエリア、研究所、オープンラボ	7,500	平成28年
F棟	インキュベーションスタジオ2、研究スペース4	812	平成29年
α棟	モノづくりセンター、グローバルスチューデントラウンジ、ラーニングスペース、多目的ホール(収容人数200人)	1,750	平成11年
本部棟	FIT Link(図書館)、エクステンションセンター、次世代マイクロ/ナノ金型開発センター、インキュベーションスタジオ3、音とモノづくりの歴史資料館、事務局	12,735	昭和61年
附属城東高校	HR棟(2,568㎡、昭和61年)、実習棟(5,479㎡、平成8年)、上善荘(1,231㎡、平成16年)	9,278	-
FITアリーナ	シンフォニーホール(収容人数2,400人)、運動施設	5,470	平成12年
FITホール	多目的ホール(収容員数1,000人)、会議室	3,612	平成23年
坦心寮	男子寮(部屋数79、収容人数239人)	6,556	平成15年
コスモス寮	女子寮(部屋数107、収容人数122人)	3,833	平成5年
国際交流会館	留学生寮(部屋数27、収容人数50人)	1,102	平成4年
和白グラウンド	高校部活動用地他	32,297	昭和37年
新宮総合グラウンド	野球場、ラグビー場、アーチェリー場、他運動施設	40,655	昭和62年
塩浜総合グラウンド	野球場、室内練習場、多目的グラウンド	38,188	平成23年
FITアリーナ WESTコート	スポーツコート、相撲場	2,308	平成27年
FITセミナーハウス	課外研修・宿泊施設	1,310	平成24年

*校舎は延床面積で表記

財務状況

■資金収支計算書 (平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

収入の部 (単位:千円)

科目	決算額
学生生徒等納付金収入	6,487,807
手数料収入	149,478
寄付金収入	43,428
補助金収入	1,498,335
資産売却収入	100,000
付随事業・収益事業収入	233,135
受取利息・配当金収入	135,247
雑収入	481,404
借入金等収入	1,000,000
前受金収入	2,275,933
その他の収入	270,764
資金収入調整勘定	△ 2,489,828
前年度繰越支払資金	2,163,692
収入の部合計	12,349,395

支出の部

科目	決算額
人件費支出	5,206,024
教育研究経費支出	1,928,061
管理経費支出	658,291
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	0
施設関係支出	225,623
設備関係支出	808,898
資産運用支出	100,000
その他の支出	253,336
資金支出調整勘定	△ 265,820
次年度繰越支払資金	3,434,982
支出の部合計	12,349,395

■貸借対照表 (平成31年3月31日現在)

資産の部 (単位:千円)

科目	平成30年度末残高
固定資産	32,417,643
有形固定資産	23,758,493
土地	3,487,651
建物	14,490,210
構築物	1,362,875
教育研究用機器備品	2,970,397
その他の機器備品	163,825
図書	1,169,893
車両	30,461
建設仮勘定	83,181
特定資産	6,130,000
第3号基本金引当特定資産	1,500,000
退職給与引当特定資産	1,500,000
施設拡充引当特定資産	2,630,000
教育設備引当特定資産	500,000
その他の固定資産	2,529,150
有価証券	2,453,962
預託金、施設利用権など	75,188
流動資産	3,862,103
現金預金	3,434,982
未収入金	368,627
修学旅行預け金、前払金など	58,494
資産の部合計	36,279,746

■事業活動収支計算書 (平成30年4月1日から平成31年3月31日まで) (単位:千円)

	科目		決算額
	収入	支出	
教育活動収支	学生生徒等納付金		6,487,807
	手数料		149,478
	寄付金		43,428
	経常費等補助金		1,462,334
	付随事業収入		233,135
	雑収入		388,581
	教育活動収入計		8,764,763
	人件費		5,050,452
	教育研究経費		2,984,579
	管理経費		732,356
徴収不能額引当金繰入等		0	
教育活動支出計		8,767,387	
教育活動収支差額		△ 2,624	
教育活動外収支	受取利息・配当金		130,298
	その他の教育活動外収入		0
	教育活動外収入計		130,298
	借入金等利息		0
	その他の教育活動外支出		0
教育活動外支出計		0	
教育活動収支差額		130,298	
経常収支差額		127,674	
特別収支	資産売却差額		0
	その他の特別収入		74,468
	特別収入計		74,468
	資産処分差額		1,212
	その他の特別支出		0
特別支出計		1,212	
特別収支差額		73,256	
基本金組入前当年度収支差額		200,930	
基本金組入額合計		△ 957,118	
当年度収支差額		△ 756,188	
前年度繰越収支差額		△ 8,678,151	
基本金取崩額		0	
翌年度繰越収支差額		△ 9,434,339	

(参考)

事業活動収入計	8,969,529
事業活動支出計	8,768,599

負債の部 (単位:千円)

科目	平成30年度末残高
固定負債	2,403,236
長期借入金	800,000
長期未払金	9,335
退職給与引当金	1,593,901
流動負債	3,029,924
短期借入金	200,000
未払金	232,344
前受金	2,275,933
預り金	278,889
仮受金	42,758
負債の部合計	5,433,160

純資産の部 (単位:千円)

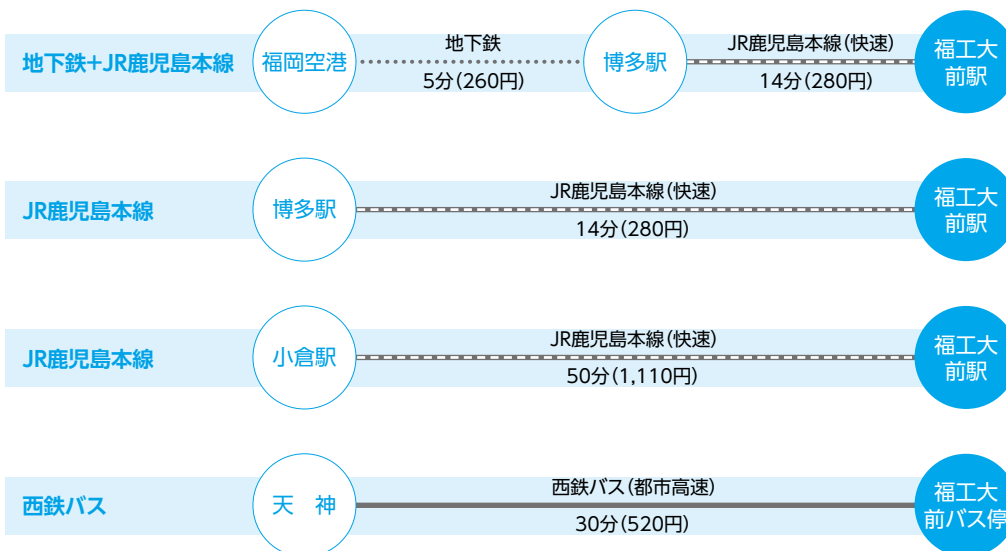
科目	平成30年度末残高
基本金	40,280,925
第1号基本金	38,176,925
第3号基本金	1,500,000
第4号基本金	604,000
繰越収支差額	△ 9,434,339
翌年度繰越収支差額	△ 9,434,339
純資産の部合計	30,846,586

負債及び純資産の部合計

負債及び純資産の部合計	36,279,746
-------------	------------

減価償却額の累計額の合計額

減価償却額の累計額の合計額	14,410,359
---------------	------------



※乗用車の場合…国道3号線から国道495号線へ進み和白方面へ

福岡工業大学

平成30年度

教育・研究活動報告書

取組成果のご報告

編集／福岡工業大学 IRプロジェクト

編集協力・印刷／久野印刷(株).

〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町3番1号 TEL: 092-262-5726 FAX: 092-262-5720

発行／令和元年8月

福岡工業大学

〒811-0295 福岡市東区和白東3丁目30番1号 TEL: 092-606-0619 FAX: 092-606-8923

2019



For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

工学部

電子情報工学科
生命環境化学科
知能機械工学科
電気工学科

情報工学部

情報工学科
情報通信工学科
情報システム工学科
システムマネジメント学科

社会環境学部

社会環境学科(文系)

大学院

工学研究科
社会環境学研究科

福岡工業大学短期大学部

情報メディア学科
ビジネス情報学科

福岡工業大学附属城東高等学校

普通科
電気科
電子情報科